

日本顕微鏡学会会報

2007
No.2

社団法人 日本顕微鏡学会

■2007年7月31日発行

■〒112-0012 東京都文京区大塚3-11-6

■TEL: 03-5940-7640 ■FAX: 03-5940-7980

大塚三丁目ビル

■E-mail: kenbikyo@realize-at.jp

リアライズAT株式会社

■URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/jsm>

◇会員の逝去 後藤俊幸先生を偲んで

本学会会員後藤俊幸先生は、闘病中のところ平成19年4月16日59歳で御逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を捧げます。

先生は永年ウイルスや細菌などの電子顕微鏡的解析に精力を注がれ、微生物研究のリーダーとして御活躍されました。この4年間は病との戦いの中でしたが、昨年のIMC16においてもいくつもの演題を御講演され、また肅々と座長を務められたお姿が目に焼き付いております。先生とのあまりにも早いお別れは研究部会のメンバーにとっても痛恨の極みですが、先生の研究に対する御意志を引き継ぐ所存です。先生への感謝の気持ちと共に、心より御冥福をお祈り申し上げます。

微生物機能の多様性解析研究部会

責任者 山田作夫

(川崎医大微生物・川崎医療福祉大臨床栄養)

◇シニア会員制度について

平成18年度よりシニア会員制度が発足いたしました。

本制度では、満60歳以上で、かつ常勤職(フルタイム職)を持たない正会員が、本人からの申請によりシニア会員となることができます。シニア会員は正会員の資格を保有しますが、年会費が6,000円に減額されます。本年度につきましても、4月1日に遡って受け付けますので、ご希望につきましては、下記事務局宛にお問い合わせください。

〒112-0012 東京都文京区大塚3-11-6 大塚三丁目ビル

(社)日本顕微鏡学会 事務局

TEL: 03-5940-7640 FAX: 03-5940-7980

E-mail: kenbikyo@realize-at.jp

◇分科会・研究部会申請の案内

平成19年度は7件の分科会と4件の研究部会が設置されました。各分科会・部会については31頁(黄緑色の頁)より掲載しました。ホームページを立ち上げている分科会・研究部会とは、学会のホームページとリンク行っていきます。

分科会・研究部会によってはホームページのメーリングリストを立ち上げています。これにより、あるいはそのほかの手段により、研究会の案内、研究の情報交換等が行われています。会員の皆様の参加をお待ちしています。

◇分科会・研究部会申請の案内

平成20年度研究部会・分科会申請希望については学会事務局宛お問い合わせください。

〒112-0012 東京都文京区大塚3-11-6 大塚三丁目ビル
(社)日本顕微鏡学会 事務局

TEL: 03-5940-7640 FAX: 03-5940-7980

E-mail: kenbikyo@realize-at.jp

◇平成19年度支部長

北海道支部: 亘理文夫(北海道大学大学院歯学研究科)

関東支部: 中村吉男(東京工業大学工学部)

関西支部: 永山國昭(自然科学研究機構統合バイオサイエンスセンター)

九州支部: 藤田 守(中村学園大学大学院栄養科学研究科)

◇電頭大学講義テキストの頒布

第17回電頭大学テキスト(5,000円)

申込先: 〒112-0012 東京都文京区大塚3-11-6

大塚三丁目ビル

(社)日本顕微鏡学会 事務局

TEL: 03-5940-7640 FAX: 03-5940-7980

E-mail: kenbikyo@realize-at.jp

◇平成18年度会務報告および収支決算

1. 平成19年通常総会

平成19年5月21日、朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)において、以下の議題について審議し、決議された。

1. 平成18年度事業報告の件

2. 平成18年度収支決算報告の件
3. 監査報告
4. 平成19年度事業計画の件
5. 平成19年度収支予算の件
6. JEM電子化の件
7. 会費滞納者除名の件
8. 次期評議員選任の件
9. 次期役員選任の件
10. その他

2. 役員

平成18年度の会務は以下の役員によって行われた。

会長：山科正平

副会長：弘津禎彦

常務理事：(庶務担当)：平山 司, 川上速人

(会計担当)：松井良夫, 大谷 修

理事：藤川清三, 柿林博司, 上野武夫, 関口隆史, 中村裕昭, 福島球琳男, 横田貞記, 高井義造, 永山國昭, 桑野範之

監事：下山 宏, 依藤 宏

3. 会員関係

(1) 会員数(平成19年3月31日現在)

正会員1944名(海外会員23名, 永年会員28名, シニア会員7名, 学生42名含)

※支部別正会員数：北海道支部	51名
関東支部	1071名
関西支部	621名
九州支部	178名

賛助会員：74社(138口)

名誉会員：30名(海外5名含)

(2) 会員異動

	入会数	退会数	除名 (会費滞納)
正会員	112名 (学30名, 永2名含)	92名 (学59名, 永2名含)	17名
賛助会員	2社	3社	0社

4. 事業

(1) 会誌等の刊行

- ・欧文誌(JEM 第55巻:2号~6号)
- 〃(JEM 第56巻:1号) 計6冊291頁
- ・和文誌(顕微鏡 第41巻:2~3号)
- 〃(顕微鏡 第42巻:1号) 計3冊217頁
- 〃(顕微鏡 IMC 特別号) (未刊)
- ・会報(和文誌「顕微鏡」への綴じ込み) 計3回39頁

(2) 第16回電子顕微鏡大学の開催

(企画委員長：高柳邦夫)

会期：平成18年4月20日(木), 21日(金)

会場：東京工業大学大岡山キャンパス(東京都目黒区)

(3) 第62回学術講演会(実行委員長：澤田 元)

会期：平成18年5月20日(土)

会場：横浜市立大学金沢八景キャンパス
(神奈川県横浜市)

(4) 第17回電子顕微鏡サマースクールの開催 (実行委員長：菅沼龍夫)

会期：平成18年6月30日(金)

会場：宮崎大学医学部清武キャンパス(宮崎県宮崎郡)

(5) 電子顕微鏡技術認定試験の実施(認定委員長：立花利公)

試験日：平成18年10月14日

会場：東京慈恵会医科大学(東京), 京都大学(京都), 産業医科大学(福岡)

受験者数：二級技士(生物)73名, 一級技士12名

認定登録者：二級技士(生物)64名, 一級技士1名

(6) 賞の授与：平成19年5月21日(月)

(第63回学術講演会時)

・第51回学会賞(瀬藤賞)選考委員会(鷹岡昭夫委員長)は内規に基づき候補者推薦に関する協議を行った。第52回委員会(高柳邦夫委員長)は、候補者について審議し、理事会は平成19年度受賞者を決定した(受賞者は会報2007 No. 1, 2-3頁参照)。

・第21回論文賞選考委員会(磯田正二委員長)は内規に基づき候補者推薦に関する協議を行った。第22回委員会(丹司敬義委員長)は、候補者について審議し、理事会は平成19年度受賞者を決定した(受賞者は会報2007 No. 1, 2-3頁参照)。

・第11回技術功労賞選考委員会(友清芳二委員長)は内規に基づき候補者推薦に関する協議を行った。第12回委員会(板東義雄委員長)は、候補者について審議し、理事会は平成19年度受賞者を決定した(受賞者は会報2007 No. 1, 2-3頁参照)。

・第7回奨励賞選考委員会(坂 公恭委員長)は内規に基づき候補者推薦に関する協議を行った。第8回委員会(古屋一夫委員長)は、候補者について審議し、理事会は平成19年度受賞者を決定した(受賞者は会報2007 No. 1, 2-3頁参照)。

(7) 第16回国際顕微鏡学会の開催(IMC16)

(委員長：飯島澄男)

会期：平成18年9月3日(日)~8日(金)

会場：札幌コンベンションセンター
(北海道札幌市白石区)

5. 諸委員会

(1) 欧文誌編集委員会(委員長 市野瀬英喜)

任期：平成18年12月末日まで

(2) 和文誌編集委員会(委員長 菅沼龍夫)

任期：平成19年3月末日まで

(3) 技術認定委員会(委員長 立花利公)

任期：平成19年3月末日まで

(4) 第51回日本顕微鏡学会学会賞(瀬藤賞)選考委員会

(委員長 鷹岡昭夫)

任期：平成18年12月末日まで

- (5) 第52回日本顕微鏡学会学会賞（瀬藤賞）選考委員会
（委員長 高柳邦夫）
任期：平成19年12月末日まで
- (6) 第21回論文賞選考委員会（委員長 磯田正二）
任期：平成18年12月末日まで
- (7) 第22回論文賞選考委員会（委員長 丹司敬義）
任期：平成19年12月末日まで
- (8) 第10回技術功労賞選考委員会（委員長 友清芳二）
任期：平成18年12月末日まで
- (9) 第11回技術功労賞選考委員会（委員長 板東義雄）
任期：平成19年12月末日まで
- (10) 第6回奨励賞選考委員会（委員長 坂 公恭）
任期：平成18年12月末日まで
- (11) 第7回奨励賞選考委員会（委員長 古屋一夫）
任期：平成19年12月末日まで
- (12) 第62回学術講演会実行委員会（委員長 澤田 元）
任期：平成18年12月末日まで
- (13) 第63回学術講演会実行委員会（委員長 牛木辰夫）
任期：平成19年12月末日まで
- (14) 第51回シンポジウム実行委員会（委員長 石村和敬）
任期：平成19年12月末日まで
- (15) 第17回電子顕微鏡サマースクール実行委員会
（委員長 菅沼龍夫）
任期：平成18年12月末日まで
- (16) 第18回電子顕微鏡サマースクール実行委員会
（委員長 小澤一史）
任期：平成19年12月末日まで
- (17) 第15・16回電子顕微鏡大学企画委員会
（委員長 高柳邦夫）
任期：平成18年12月末日まで
- (18) 第17・18回電子顕微鏡大学企画委員会
（委員長 板東義雄）
任期：平成20年12月末日まで
- (19) 第16回国際顕微鏡学会会議組織委員会（IMC16）
（委員長 飯島澄男）
任期：平成18年12月末日まで
- (20) 学術運営委員会（委員長 弘津禎彦）
任期：平成19年総会まで

6. 分科会（7件）

- (1) バイオメディカルニューマイクロスコープ分科会
世話人：松野 彰
- (2) 分析電子顕微鏡分科会
世話人：市野瀬英喜
- (3) 超分解能電子顕微鏡分科会
世話人：高柳邦夫
- (4) 走査電子顕微鏡分科会
世話人：山下美香
- (5) 走査型プローブ顕微鏡分科会
世話人：富取正彦
- (6) 生体構造解析分科会
世話人：宮澤淳夫
- (7) デバイス解析分科会
世話人：加藤直子

7. 研究部会（5件）

- (1) SPMで生命現象を捉える手法の開発研究部会
世話人：荒川秀雄
- (2) 微生物の構造・機能の顕微科学的解析研究部会
世話人：山田作夫
- (3) ビーム誘起・励起効果研究部会
世話人：松村 晶
- (4) 記録系と画像処理研究部
世話人：長我部信行
- (5) SEM像の物理学
世話人：桑野範之

8. 平成18年度収支決算

収支計算書

（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

収入の部		（単位：円）		
科 目	予算額	決算額	差 異	
基本財産収入	2,000	8,000	6,000	
基本財産利息収入	2,000	8,000	6,000	
会費・入金会収入	26,706,500	26,003,000	△703,500	
正会員会費収入	18,126,500	17,671,000	△455,500	
正会員		17,014,500	17,014,500	
海外		213,500	213,500	
学生		324,000	324,000	
シニア		24,000	24,000	
永年		95,000	95,000	
賛助会員会費収入	8,460,000	8,280,000	△180,000	
入金会収入	120,000	52,000	△68,000	
事業収入	7,025,930	30,464,215	23,438,285	
和文誌収入	3,355,930	15,821,176	12,465,246	
購読料収入	555,930	12,075,360	11,519,430	
論文掲載・別刷代收	400,000	502,891	102,891	
広告料収入	2,400,000	3,242,925	842,925	
講演会等収入	2,950,000	13,388,039	10,438,039	
学術講演会	300,000	8,324,000	8,024,000	
シンポジウム	0	0	0	
サマースクール	650,000	1,249,016	599,016	
電子顕微鏡大学	2,000,000	3,815,023	1,815,023	
技術認定収入	720,000	1,255,000	535,000	
補助金収入	7,800,000	7,800,000	0	
刊行補助金収入	7,800,000	7,800,000	0	
科学研究費補助金	7,800,000	7,800,000	0	
学術振興金収入	0	0	0	
雑収入	210,000	286,229	76,229	
受取利息収入	10,000	34,645	24,645	
雑収入	200,000	251,584	51,584	
積立預金取崩収入	1,900,000	6,531,344	4,631,344	
60周年記念事業費積立預金	0	4,506	4,506	
国際会議積立預金取崩収入	0	4,612,090	4,612,090	
学術振興積立預金取崩収入	1,200,000	1,214,748	14,748	
選挙管理費積立預金取崩収入	700,000	700,000	0	

当期収入合計	43,644,430	71,092,788	27,448,358
前期繰越収支差額	23,782,496	23,782,496	0
収入合計	67,426,926	94,875,284	△27,448,358

支出の部 (単位：円)			
科 目	予算額	決算額	差 異
JEM 発行事業費	10,500,000	9,294,680	1,205,320
学会誌購入費	7,000,000	7,000,000	0
超過頁費用	200,000	0	200,000
編集費	1,200,000	954,745	245,255
編集委員会費	400,000	143,020	256,980
送料	1,700,000	1,196,915	503,085
和文誌発行事業費	7,150,000	13,551,295	△6,401,295
製作費	4,850,000	11,330,352	△6,480,352
編集費	900,000	747,980	152,020
編集委員会費	600,000	610,620	△10,620
送料	800,000	862,343	△62,343
会報発行事業費	600,000	515,796	84,204
講演会等事業費	4,150,000	6,497,020	△2,347,020
学術講演会	1,300,000	3,285,551	△1,985,551
シンポジウム	0	0	0
サマースクール	750,000	1,381,566	△631,566
電子顕微鏡大学	2,100,000	1,829,903	270,097
技術認定事業費	850,000	995,953	△145,953
認定委員会費	550,000	516,158	33,842
認定事業費	300,000	479,795	△179,795
支部活動・その他事業費	5,571,691	4,068,927	1,502,764
支部割当金	1,761,691	1,761,870	△179
学会賞（瀬藤賞）選考費	460,000	202,230	257,770
論文賞選考費	760,000	168,161	591,839
技術功労賞選考費	50,000	33,698	16,302
奨励賞選考費	50,000	37,776	12,224
電子顕微鏡最重要技術検討会	300,000	205,395	94,605
分科会・研究部会補助金	1,200,000	1,089,450	110,550
アーカイブ部会	500,000	113,610	386,390
HP 更新維持費	400,000	378,000	22,000
国際連合負担金	90,000	78,737	11,263
管理費	12,520,000	12,186,647	333,353
会議費	600,000	434,579	165,421
旅費・交通費	1,450,000	1,744,000	△294,000
通信費	600,000	239,417	360,583
印刷費	850,000	756,125	93,875
選挙管理費	700,000	408,380	291,620
雑費	650,000	630,676	19,324
業務委託費	6,500,000	6,573,170	△73,170
会誌管理費	720,000	717,100	2,900
租税公課	450,000	683,200	△233,200
特別事業費	60,000	0	60,000

材料連合協議会補助金	30,000	0	30,000
形態細胞医科学分科会補助金	30,000	0	30,000
積立金預金支出	2,460,000	26,235,097	△23,775,097
60周年記念事業費積立預金	400,000	400,000	0
国際会議関係預金	1,000,000	13,900,000	△12,900,000
IMC 開催準備金	0	8,800,000	△8,800,000
名簿刊行事業積立預金	700,000	700,000	0
特定預金積立金	10,000	0	10,000
学術振興積立預金	0	2,085,097	△2,085,097
選挙管理費積立預金	350,000	350,000	0
雑損失	0	0	0
予備費	500,000	0	500,000
当期支出合計	44,361,691	73,345,415	△28,983,724
当期収支差額	△717,261	△2,252,627	1,535,366
次期繰越収支差額	23,065,235	21,529,869	1,535,366

正味財産増減計算書

(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 増加の部		
1. 資産増加額		
60周年記念事業費積立預金	395,494	
国際会議関係預金	13,900,000	
IMC 開催準備金	4,187,910	
名簿刊行事業積立預金	700,000	
学術振興積立預金	870,349	20,053,753
増加額合計		20,053,753
II. 減少の部		
2. 資産減少額		
選挙管理費積立預金	350,000	
当期収支差額	2,252,627	2,602,627
減少額合計		2,602,627
当期正味財産増加額		17,451,126
前期繰越正味財産額		61,128,743
期末正味財産合計額		78,579,869

貸借対照表

(平成 19 年 3 月 31 日現在)

1. 資産の部 (単位：円)		
大 科 目	中 科 目	金 額
流動資産		
	現金	161,658
	郵便振替	14,508,730
	普通預金	22,236,243
	定期預金	2,001,097
	立替金	2,715,845
	未収入金	3,027,276

流動資産合計	44,650,849
固定資産	
定期預金	
基本財産	10,000,000
60周年記念事業費積立預金	3,200,000
国際会議関係預金	14,900,000
IMC開催準備金	8,800,000
名簿刊行事業積立預金	5,200,000
学術振興積立預金	14,600,000
選挙管理費積立預金	350,000
固定資産合計	57,050,000
資産合計	101,700,849

2. 負債の部

大科目	中科目	金額
流動負債	未払金	12,013,160
	前受会費	11,107,820
流動負債合計		23,120,980
負債合計		23,120,980

3. 正味財産の部

勘定科目	金額
正味財産	78,579,869
(うち基本金)	(10,000,000)
(当期正味財産増加額)	(17,451,126)
負債及び正味財産合計	101,700,849

注 記 事 項

1. 重要な会計方針

資金の範囲について

流動資産及び流動負債である。

前期末残高、当期末残高は下記のとおりである。

2. 基本財産の増減額及びその残高は次のとおりである。

科目	前期末残高	増加額	減少額	当期末残高
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000

3. 次期繰越収支差額は次のとおりである。

	前期末残高	当期末残高
流動資産	39,040,082	44,650,849
現金	40,856	161,658
郵便振替	9,591,563	14,508,730
普通預金	18,101,640	22,236,243
定期預金	2,000,698	2,001,097
立替金	2,885,600	2,715,845
前払金	6,100,000	
未収入金	319,725	3,027,276
流動負債	15,257,586	23,120,980
未払金	5,559,506	12,013,160
前受金	67,000	0
前受会費	9,631,080	11,107,820
差引	23,782,496	21,529,869

4. 正味財産の内訳は次のとおりである。

科目	当期末残高
基本金	10,000,000
60周年記念事業費積立預金	3,200,000
国際会議関係預金	14,900,000
IMC開催準備金	8,800,000
名簿刊行事業積立預金	5,200,000
学術振興積立預金	14,600,000
選挙管理費積立預金	350,000
その他	21,529,869
正味財産合計	78,579,869

財 産 目 録

(平成19年3月31日現在)

I. 資産の部

(単位：円)

科目	摘 要	金額
流動資産		44,650,849
現金		161,658
郵便振替		14,508,730
普通預金	中央三井信託銀行本店	9,780,121
〃	三菱信託銀行上野支店	468,658
〃	みずほ銀行本郷支店	11,229,181
〃	宮崎銀行清武支店	758,283
定期預金	三井住友銀行上野支店	2,001,097
立替金	第16回国際顕微鏡学会	185,600
〃	第63回学術講演会補助金	2,500,000
〃	関東支部案内掲載料	30,245
未収入金	和文誌別刷・広告	1,008,135
〃	第16回国際顕微鏡学会会議 和文報告書	1,995,000
〃	雑収入(著作権使用料平成14年 度出版社著作権協議会)	24,000
〃	その他	141
固定資産		57,050,000
基本財産		
定期預金	中央三井信託銀行本店	10,000,000
その他の固定資産		
定期預金	みずほ銀行本郷支店	4,500,000
〃	みずほ銀行本郷支店	13,400,000
〃	三菱UFJ信託銀行上野支店	15,600,000
〃	東京三菱銀行春日町支店	10,000,000
〃	三井住友銀行上野支店	3,550,000
資産合計		101,700,849

II. 負債の部

(単位：円)

科目	摘 要	金額
流動負債		23,120,980
未払金	和文誌発行事業費(制作費)	10,269,656

〃	和文誌発行事業費（送料）	299,475
〃	JEM 発行事業費（送料）	592,045
〃	平成 19 年 3 月期確定消費税	683,200
〃	その他（佐川急便他）	168,784
前受会費	平成 19 年度正会員会費	7,237,500
〃	平成 19 年度賛助会員会費	3,420,000
〃	平成 19 年度シニア会員会費	21,500
〃	平成 19 年度学生会員会費	24,000
〃	平成 19 年度購読法人会費	198,000
〃	平成 19 年度購読書店会費	143,820
〃	平成 19 年度入会金	15,000
〃	平成 20 年度正会員会費	48,000
負債合計		23,120,980
正味財産合計		78,579,869
負債及び正味財産合計		101,700,849

◇平成19年度事業計画および収支予算

1. 学会誌、会報等の発刊

(1) 会誌等の発刊

- ・欧文誌（JEM 第 56 巻 2 号～6 号，57 巻 1 号）：
年 6 回刊行予定
- ・和文誌（顕微鏡 第 42 巻 2 号～3 号，43 巻 1 号）：
年 3 回刊行予定
- ・会報（和文誌への綴込 2007 年 No. 2～3，2008 年 No. 1）：年 3 回刊行予定

2. 事業

- (1) 第 17 回電子顕微鏡大学（企画委員長：板東義雄）
会期：平成 19 年 4 月 19 日（木）～20 日（金）
会場：東京工業大学大岡山キャンパス（東京都目黒区）
- (2) 第 63 回学術講演会（実行委員長：牛木辰夫）
会期：平成 19 年 5 月 20 日（日）～22 日（火）
会場：朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）
（新潟県新潟市）
- (3) 第 51 回シンポジウム（委員長：石村和敬）
会期：平成 19 年 10 月 19 日（金）～20 日（土）
会場：徳島大学蔵本キャンパス長井記念ホール
（徳島県）
- (4) 第 18 回電子顕微鏡サマースクール（委員長：小澤一史）
会期：平成 19 年 7 月 27 日（金）～28 日（土）
会場：日本医科大学橘桜会館ホール（東京都文京区）
- (5) 電子顕微鏡技術認定試験（認定委員長：土肥良秋）
試験日：平成 19 年 10 月 13 日（土）
会場：東京慈恵会医科大学，京都大学医学部，産業医科大学
- (6) 賞の授与：平成 19 年 5 月 21 日（月）
（第 63 回学術講演会時）
第 52 回日本顕微鏡学会学会賞（瀬藤賞）・第 22 回論文賞・第 12 回技術功労賞
第 8 回奨励賞

(7) 分科会（7 件）

- 1) バイオメディカルニューマイクロスコープ分科会
世話人：松野 彰
- 2) 分析電子顕微鏡分科会
世話人：市野瀬英喜
- 3) 超分解能電子顕微鏡分科会
世話人：高柳邦夫
- 4) 走査電子顕微鏡分科会
世話人：山下美香
- 5) 走査型プローブ顕微鏡分科会
世話人：富取正彦
- 6) 生体構造解析分科会
世話人：宮澤淳夫
- 7) デバイス解析分科会
世話人：加藤直子

(8) 研究部会（4 件）

- 1) 生命活動を観察する走査型プローブ顕微鏡法研究部会
世話人：繁野雅次
- 2) 微生物機能の多様性解析研究部会
世話人：山田作夫
- 3) SEM 像の物理学
世話人：桑野範之
- 4) 3 次元電子線トモグラフィ法のマテリアルへの展開
世話人：馬場則男

3. 委員会

- (1) 欧文誌編集委員会（委員長 市野瀬英喜）
任期：平成 20 年 12 月末日まで
- (2) 和文誌編集委員会（委員長 高井義造）
任期：平成 20 年 3 月末日まで
- (3) 技術認定委員会（委員長 土肥良秋）
任期：平成 20 年 3 月末日まで
- (4) 第 51 回日本顕微鏡学会学会賞（瀬藤賞）選考委員会
（委員長 高柳邦夫）
任期：平成 19 年 12 月末日まで
- (5) 第 21 回論文賞選考委員会（委員長 丹司敬義）
任期：平成 19 年 12 月末日まで
- (6) 第 11 回技術功労賞選考委員会（委員長 板東義雄）
任期：平成 19 年 12 月末日まで
- (7) 第 7 回奨励賞選考委員会（委員長 古屋一夫）
任期：平成 19 年 12 月末日まで
- (8) 第 63 回学術講演会実行委員会（委員長 牛木辰男）
任期：平成 19 年 12 月末日まで
- (9) 第 64 回学術講演会実行委員会（委員長 磯田正二）
任期：平成 20 年 12 月末日まで
- (10) 第 18 回電子顕微鏡サマースクール実行委員会
（委員長 小澤一史）
任期：平成 19 年 12 月末日まで
- (11) 第 17 回電子顕微鏡大学企画委員会
（委員長 板東義雄）
任期：平成 20 年 12 月末日まで
- (12) 学術運営委員会（委員長 副会長）
任期：平成 20 年総会まで
- (13) 電子顕微鏡最重要技術検討会（委員長 田中信夫）
任期：平成 20 年 3 月末日まで
- (14) 第 51 回シンポジウム実行委員会（委員長 石村和敬）
任期：平成 19 年 12 月末日まで

4. 平成 19 年度収支予算

収支予算書

(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

収入の部 (単位：円)			
科 目	18 年度予算額	19 年度予算額	差 異
基本財産収入	2,000	3,000	1,000
基本財産利息収入	2,000	3,000	1,000
会費・入会金収入	26,706,500	26,631,000	△ 75,500
正会員会費収入	18,126,500	18,191,000	64,500
賛助会員会費収入	8,460,000	8,340,000	△ 120,000
入会金収入	120,000	100,000	△ 20,000
事業収入	7,025,930	30,530,000	23,504,070
和文誌収入	3,355,930	3,560,000	204,070
購読料収入	555,930	500,000	△ 55,930
論文掲載・別刷代収入	400,000	500,000	100,000
広告料収入	2,400,000	2,560,000	160,000
講演会等収入	2,950,000	26,250,000	23,300,000
学術講演会	300,000	22,000,000	21,700,000
シンポジウム	0	1,600,000	1,600,000
サマースクール	650,000	650,000	0
電子顕微鏡大学	2,000,000	2,000,000	0
技術認定収入	720,000	720,000	0
補助金収入	7,800,000	2,900,000	△ 4,900,000
刊行補助金収入	7,800,000	2,900,000	△ 4,900,000
科学研究費補助金	7,800,000	2,900,000	△ 4,900,000
学術振興金収入	0	0	0
雑収入	210,000	260,000	50,000
受取利息収入	10,000	10,000	0
雑収入	200,000	250,000	50,000
積立預金取崩収入	1,900,000	5,600,000	3,700,000
国際会議関係預金取崩収入	0	0	0
国際会議積立預金取崩収入	0	0	0
名簿刊行事業積立預金取崩収入	0	4,500,000	4,500,000
学術振興積立預金取崩収入	1,200,000	1,100,000	△ 100,000
選挙管理費積立預金取崩収入	700,000	0	△ 700,000
当期収入合計	43,644,430	65,924,000	22,279,570
前期繰越収支差額	23,782,496	21,529,869	△ 2,252,627
収入合計	67,426,926	87,453,869	20,026,943

支出の部 (単位：円)

科 目	18 年度予算額	19 年度予算額	差 異
JEM 発行事業費	10,500,000	5,900,000	△ 4,600,000
学会誌購入費	7,000,000	3,700,000	△ 3,300,000
超過頁費用・カラーページ費用	200,000	200,000	0
編集費	1,200,000	1,200,000	0
編集委員会費	400,000	400,000	0
送料	1,700,000	400,000	△ 1,300,000

和文誌発行事業費	7,150,000	7,150,000	0
製作費	4,850,000	4,850,000	0
編集費	900,000	900,000	0
編集委員会費	600,000	600,000	0
送料	800,000	800,000	0
会報発行事業費	600,000	600,000	0
講演会等事業費	4,150,000	29,650,000	25,500,000
学術講演会	1,300,000	24,500,000	23,200,000
シンポジウム	0	2,300,000	2,300,000
サマースクール	750,000	750,000	0
電子顕微鏡大学	2,100,000	2,100,000	0
技術認定事業費	850,000	850,000	0
認定委員会費	550,000	550,000	0
認定事業費	300,000	300,000	0
パッチ製作費	0	0	0
支部活動・その他事業費	5,571,691	9,868,750	4,297,059
支部割当金	1,761,691	1,958,750	197,059
学会賞(瀬藤賞)選考費	460,000	460,000	0
論文賞・和文誌賞選考費	760,000	460,000	△ 300,000
技術功労賞選考費	50,000	50,000	0
奨励賞選考費	50,000	50,000	0
電子顕微鏡最重要技術検討会	300,000	300,000	0
分科会・研究部会補助金	1,200,000	1,100,000	△ 100,000
アーカイブズ部会	500,000	500,000	0
ホームページ更新・維持費	400,000	400,000	0
国際連合負担金	90,000	90,000	0
学会名簿作成活動費	0	4,500,000	4,500,000
管理費	12,520,000	11,920,000	△ 600,000
会議費	600,000	700,000	100,000
旅費・交通費	1,450,000	1,650,000	200,000
通信費	600,000	600,000	0
印刷費	850,000	850,000	0
選挙管理費	700,000	0	△ 700,000
雑費	650,000	450,000	△ 200,000
業務委託費	6,500,000	6,500,000	0
会誌管理費	720,000	720,000	0
租税公課	450,000	450,000	0
特別事業費	60,000	60,000	0
材料連合協議会補助金	30,000	30,000	0
形態細胞医科学分科会補助金	30,000	30,000	0
積立金預金支出	2,460,000	1,450,000	△ 1,010,000
60 周年記念事業費積立預金	400,000	400,000	0
国際会議関係預金	1,000,000	0	△ 1,000,000
国際会議積立預金	0	0	0
名簿刊行事業積立預金	700,000	700,000	0
特定預金積立金	10,000	0	△ 10,000
学術振興積立預金	0	0	0
選挙管理費積立預金	350,000	350,000	0

雑損失	0	0	0
予備費	500,000	500,000	0
当期支出合計	44,361,691	67,948,750	23,587,059
当期収支差額	△ 717,261	△ 2,024,750	△ 1,307,489
次期繰越収支差額	23,065,235	19,505,119	△ 3,560,116

◇平成18年度支部活動と会計報告

《北海道支部》

I. 事業報告

1. 支部総会

平成19年3月6日(火)午後1時から午後1時20分まで北海道大学学術交流会館小講堂にて開催した。

2. 支部学術講演会

平成19年3月6日(火)午前10時から午後5時まで北海道大学学術交流会館小講堂にて開催した(特別講演3件, 指定及び一般講演9件)。

今回は、日本顕微鏡学会「ビーム誘起・励起効果研究部会」との並行開催とし、特別講演のうち1件は特別基調講演として研究部会代表の松村 晶先生(九大)に講演いただいた。

3. 支部役員会

・第一回役員会(拡大役員会)

平成18年6月28日(水)午後5時から午後7時半まで

・第二回役員会

平成18年11月22日(水)午後4時から午後6時まで

・第三回役員会

平成19年3月6日(火)正午から午後1時まで
(学術講演会当日)

4. 研究会, 講演会

募集を行ったが、平成18年度はいずれも応募はなかった。

5. その他

・第16回国際顕微鏡学会議(IMC16)の開催

平成18年9月3日(日)～8日(金)

場所:札幌コンベンションセンター(札幌市白石区)

II. 会計報告

収入の部 (単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額
支部割当金	245,036	245,036
雑収入(利息等)	153	1,958
前年度繰越金	108,294	108,294
合計	353,483	355,288

支出の部 (単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額
総会・学術講演会	250,000	256,225
プログラム作成/郵送	30,000	38,082
施設使用料	30,000	33,260
会場運営費	50,000	50,160

講師資料作成代	40,000	60,000
講師旅費	70,000	50,000
雑費	30,000	24,723
研究会・講演会費	40,000	0
交通費	12,000	5,700
会議費	3,000	1,475
通信費	2,000	2,008
予備費	2,000	3,571
次年度繰越金	44,483	86,309
合計	353,483	355,288

《関東支部》

I. 事業報告

1. 平成18年度日本顕微鏡学会関東支部役員は下記のとおりであった。

支部長: 大野伸一(山梨大)

副支部長: 中村吉男(東工大)

常任幹事(庶務担当): 山口正視(千葉大)

常任幹事(会計担当): 山本直紀(東工大)

常任幹事(選挙担当): 大久保忠勝(物質材料研究機構)

常任幹事(HP担当): 佐藤洋一(岩手医大)

監 査: 年森清隆(千葉大)

吉田 明(武蔵工業大学)

2. 日本顕微鏡学会関東支部第31回講演会および平成18年度総会・評議員会を開催した。

日 時:平成19年3月17日(土)9:20～17:50

場 所:東京工業大学大岡山キャンパス

デジタル多目的ホール(西9号館)他

参加総数:223名

実行委員長:及川哲夫(日本電子)

副実行委員長:立花利公(慈恵医大)

講演会テーマ:夢をかなえる最先端の顕微鏡テクノロジー

詳細は日本顕微鏡学会のHP内 関東支部に記載されている。

3. 第33回電子顕微鏡試料作製・観察実技および光顕技法講習会を実施した。

詳細は、日本顕微鏡学会のHP内 関東支部に記載されている。

各講習科目は次のように実施された。

講習科目:生物試料超薄切片法(医・生物)	1名
走査電子顕微鏡試料作製法(医・生物)	3名
フリーズレプリカ法(医・生物)	1名
ラットの血管鋳型作製法(医・生物)	1名
高分解能電子顕微鏡観察法(セラミック)	3名
高分子材料の電子顕微鏡試料作製法(共通)	1名
高分解能電子顕微鏡観察の基礎	2名
計	12名

4. 幹事会・常任幹事会を開催した。

幹 事 会:平成18年6月10日, 8月12日, 12月9日

常任幹事会：平成18年4月22日、6月10日、8月12日、
12月9日、平成19年3月17日

幹事会議事録は日本顕微鏡学会のHP内 関東支部に記載されている。

5. 第3回幹事会においてミニ情報交換会を実施した。

・村上 徹先生（群馬大学）

「ゼブラフィッシュのカドヘリンについての研究」

・佐藤 馨先生（JFE）

「鉄鋼表面評価へのSEMの活用について」

6. 平成19、20年度本部役員候補者の選出

・会長候補者として、高柳邦夫会員（東工大）を推薦した。

・監事候補者として山口正視会員を、役員候補者推薦委員会委員として西山彌生会員を推薦した。

・理事候補者6名（生物系3名・川上速人、高橋一郎、年森清隆、非生物系3名・福島球琳男、進藤大輔、杉山昌章）を推薦した。

・評議員候補者126名を推薦した。

7. 平成19、20年度関東支部評議員、幹事候補者の選出

・168名の評議員候補者と79名の幹事候補者を選挙により選出した。

8. 日本顕微鏡学会関東支部内規の改定について

第1回、2回、3回幹事会で、支部内規第3条および第12条を改定することについて議論された。本件については評議会・総会に付議され可決された。

9. 平成19年度関東支部支部長および副支部長の選出

12月9日の幹事会において、選挙により平成19年度支部長、副支部長を選出した。

支部長： 中村吉男（東工大）（材料系）

副支部長： 牛木辰男（新潟大）（生物系）

II. 会計報告

収入の部		(単位：円)	
科 目	予 算 額	決 算 額	
繰越金	2,598,029	2,369,660	
支部割当金	700,000	713,061	
支部講演会	1,200,000	1,494,500	
支部実技講習会	700,000	600,039	
雑収入	50,000	1,262	
合計	5,248,029	5,178,522	

支出の部		(単位：円)	
科 目	予 算 額	決 算 額	
通信費	320,000	238,450	
会議費	120,000	140,613	
交通費	400,000	196,500	
印刷費	100,000	57,655	
事務委託費	300,000	125,994	
支部講演会	1,200,000	1,500,424	
支部実技講習会	600,000	500,420	
予備費	50,000	2,100	

繰越充当金	2,158,029	2,416,366
合計	5,248,029	5,178,522

通信費：選挙、総会案内ハガキ代、振り込み手数料
会議費：幹事会会場借用料、食事代、総会弁当、飲み物
交通費：幹事会出席者への交通費
印刷費：はがきの印刷
事務委託費：ラベル印刷業務、顕微鏡誌の記事掲載、資料準備、発送業務
予備費：佐々木崇壽幹事への弔電
講演会関係で一部未徴収金があり、入金できるものとして記載されている。

《関西支部》

1. 事業報告

1. 幹事会：年3回 平成18年6月10日（土）、7月15日（土）、12月8日（金）

2. 支部総会・評議員会：7月15日（土）、京都大学化学研究所 共同研究棟

3. 特別講演会：7月15日（土）、京都大学化学研究所 共同研究棟 大セミナー室

セッション I

13:30～14:00

「遷移金属シリサイドの電子線結晶学」

乾 晴行（京大工）

14:00～14:30

「EELS 微細構造の先端解析とその材料科学への応用」

武藤俊介（名大工）

14:30～15:00

「高分解能 AFM の開発とその液中観察への応用」

小林 圭（京大工）

15:00～15:30

「近接場光学顕微鏡によるナノイメージング分光の新展開と物性探索への応用」

松田一成（京大化研）

セッション II

15:50～16:20

「2光子顕微鏡による逐次開口放出と大脳新皮質の in vivo イメージング」

根本知己（生理学研究所・生体情報解析室）

16:20～16:50

「質量分析イメージング」

新聞秀一（総合研究大学院大学）

16:50～17:20

「電顕トモグラフィーを用いた細胞内超分子の三次元可視化」

岩崎憲治（阪大蛋白研）

17:20～17:50

「位相差電顕」 Radostin Danev（岡崎統合バイオ）

4. 関西支部特別企画（楠美智子幹事担当）：12月8日（金）

日本顕微鏡学会 関西支部研究会特別企画、応用物理学会

東海支部との共催

テーマ：「材料創成と顕微鏡」

日 時：平成 18 年 12 月 8 日（金）

場 所：（財）ファインセラミックスセンター材料技術研究所

10：00- 「物質創生における固体無機反応電顕内その場観察の可能性」 黒田光太郎（名古屋大学）

10：40- 「鉄鋼材料の組織微細化技術の開発と定量観察」 杉山昌章（新日鐵）

11：20- 「走査型トンネル顕微鏡による分子配列ダイナミクスの観察」 柳 久雄（奈良先端大）

13：00- 「電子セラミックス機能と界面構造観察」（仮） 山本剛久（東京大学）

13：40- 「電子線誘起蒸着法によるナノ構造作製」 古屋一夫（物質・材料研究機構）

14：20- 「積層セラミックスコンデンサー用材料の微細構造評価」 本吉康弘（村田製作所）

15：15- 「強磁性規則合金 FePt, FePd ナノ粒子の合成と電子線構造解析」 Andras Kovacs（阪大産研）

15：55- 「ナノ空間材料の生成プロセス」 佐々木優吉（JFCC）

16：35- 「電子線ホログラフィーによる極微量ドーパント分布の観察」 平山 司（JFCC）

17：20- JFCC 見学会

5. 外国人講演会

(ア) 「パルス電子銃つきダイナミック透過電子顕微鏡による材料の動的特性の研究」, Prof. Nigel Browning (Univ. California), 名古屋大学

(イ) “High resolution electron microscopy study of some low-dimensional materials”, Prof. Ze Zhang (Beijing University of Technology, China), 京都大学化学研究所

(ウ) “Investigation of twinned single crystals of isotactic poly(vinylcyclohexane) via electron microscopy”, Prof. Annette THIERRY (CNRS (ICS-CRM), Institut Charles Sadron, France), 京都大学化学研究所

(エ) “Probing atoms in-situ by aberration-corrected scanning transmission electron microscopy”, Prof. Ondrej Krivanek (Nion), 京都大学化学研究所

(オ) “X-Ray Microanalysis in the Electron Microscope”, Prof. Raynald Gauvin (Department of Mining, Metals & Materials Engineering, McGill University), 京都大学化学研究所

(カ) “In situ ultrahigh vacuum transmission electron microscope investigations of nanostructures on silicon”, Prof. L.-J. Chen (National Tsing-Hua University, Taiwan), 京都大学化学研究所

6. 共催事業など

「次世代不揮発性メモリー開発の新しい展開」, 平成 18 年 11 月 17 日, 応用物理学会関西支部への協賛

「無染色で組織を観察できる新しい顕微鏡」, 平成 18 年 11

月 24 日, 第 52 回日本病理学会秋期特別総会に共催

「超高压電子顕微鏡が拓く世界」, 平成 19 年 1 月 31 日, 日本真空協会関西支部への協賛

7. 平成 19 年度支部長・副支部長選挙(平成 19 年 3 月 20 日)
支部長 永山國昭(岡崎統合バイオ), 副支部長 亀井一人(住友金属工業)

II. 会計報告

収入の部 (単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額
1. 本部からの補助金		
支部割当金収入	505,918	505,918
2. 雑収入		
特別企画要旨集代金	0	5,000
受取利息	5	405
当期収入合計	505,923	511,323
3. 前期繰越金	784,962	784,962
合計	1,290,880	1,296,285

支出の部 (単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額
1. 支部事業費		
通信費	170,000	85,693
印刷費	60,000	0
事務費	60,000	441
会場費	50,000	0
会議費	50,000	0
総会費	50,000	0
交通費	350,000	265,660
外国人講演会費	80,000	40,000
支部特別企画補助金	250,000	106,120
2. 予備費	50,000	630
当期支出合計	1,170,000	498,544
3. 次期繰越金	120,880	797,741
合計	1,290,880	1,296,285

《九州支部》

I. 事業報告

1. 第 17 回電顕サマースクール

日 時：平成 18 年 7 月 28・29 日

場 所：宮崎大学医学部

担 当：菅沼龍夫教授（宮崎大学医学部）

2. 第 19 回九州電子顕微鏡研究会

日 時：平成 18 年 9 月 16 日（土）

場 所：九州大学箱崎キャンパス 交流プラザ

3. 第 48 回支部総会ならびに支部評議員会の開催

日 時：平成 18 年 12 月 2 日（土）

場 所：長崎大学医学部

世話人：小路武彦教授（長崎大学医学部）

II. 会計報告

収入の部		(単位：円)
科 目		
支部交付金	297,855	
前年度繰越金	628,210	
利息	350	
合計	926,415	
支出の部		(単位：円)
科 目		
支部総会助成	250,000	
通信・郵送料, 事務費	28,088	
技術研究会助成	20,000	
予備費	0	
次年度繰越金	628,327	
合計	926,415	

◇平成19年度支部事業計画・予算

《北海道支部》

I. 事業計画

1. 支部総会, 支部学術講演会等の開催

- 支部学術講演会と支部総会 (同日開催)

平成20年2～3月開催予定

ただし, 日程, 企画等は継続して検討する。

- 第一回役員会

平成19年5～6月頃開催予定

- 第二回役員会

平成19年10～11月頃開催予定

- 第三回役員会

学術講演会と同日に開催予定

2. 講習会や研究会等の募集

- 電子顕微鏡に関する講習会, 研究会等の開催を募集する。

3. その他

- 役員改選 (敬称略)

支部長 亙理文夫

副支部長 竹花一成

総務 宇尾基弘

会計 中村秀樹

支部評議員 石政 勉, 大貫惣明, 郷原一寿, 柴山環樹,
清水 宏, 辰巳治之, 橋本善春, 平 義樹,
藤川清三, 脇田 稔, 渡辺精一, 渡部 剛

監査 高橋平七郎, 坂口紀史

顧問 阿部和厚, 阿部光雄, 石田茂雄, 井上芳郎,
太田 糺, 小野一幸, 四方英四郎, 下田晶
久, 高橋平七郎, 武田正子, 竹山太郎, 橋本
正淑, 森 道夫

II. 予算

収入の部		(単位：円)
科 目	予 算	
支部割当金	245,036	
雑収入 (利息等)	153	
前年度繰越金	86,309	
合計	331,498	
支出の部		(単位：円)
科 目	予 算	
総会・学術講演会	250,000	
プログラム作成/郵送	30,000	
施設使用料	30,000	
会場運営費	50,000	
講師謝金	40,000	
講師旅費	70,000	
雑費	30,000	
研究会・講演会費	40,000	
交通費	12,000	
会議費	3,000	
通信費	2,000	
予備費	2,000	
次年度繰越金	22,498	
合計	331,498	

《関東支部》

I. 事業計画

- 日本顕微鏡学会関東支部常任幹事会, 幹事会の開催

- 幹事会でのミニ情報交換の実施

(ミニ情報交換：幹事の所属する研究機関での顕微鏡の利用状況などの紹介)

- 電子顕微鏡試料作製・観察実技および光学顕微鏡技法講習会の開催

- 法改正に伴う会計についての議論と体制整備

- 関東支部第32回講演会の開催

- 平成19年度関東支部評議員会・総会の開催

- 平成20年度関東支部役員の選出

II. 予算

収入の部		(単位：円)
科 目	予 算	
繰越金	2,447,660	
支部割当金	700,000	
支部講演会	1,200,000	
支部実技講習会	700,000	
雑収入	50,000	
合計	5,097,660	
支出の部		(単位：円)
科 目	予 算	
通信費	200,000	

会議費	120,000
交通費	400,000
印刷費	100,000
事務委託費	300,000
支部講演会	1,200,000
支部実技講習会	600,000
予備費	50,000
繰越充当金	2,127,660
合計	5,097,660

《関西支部》

I. 事業計画

1. 幹事会：年3回 平成19年6月30日（土）、7月31日（火）、12月x,y日
2. 支部総会・評議委員会：7月31日（火）、自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンター
3. 特別講演会（担当：永山幹事、平山幹事）：7月31日（火）、自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンター
共催：日本顕微鏡学会、分子研ナノフォーラム

I. “Amorphous Ice and Molecular Imaging

（非晶質氷と分子イメージング）”（永山幹事担当）

1. 鈴木芳治「非晶質氷の実験」
2. 松本正和（名古屋大学・理）「非晶質氷の理論」
3. L. Comolli（Lawrence Berkeley Lab）
「非晶質氷と cryotomography」
4. R. Danev（自然科学研究機構・統合バイオ）
「蛋白質の氷包埋観察」

II. “Cs Corrected TEM (Cs 収差補正電顕)”（平山幹事担当）

・講師選定中

4. 関西支部特別企画（担当：白田幹事、亀井幹事）：12月x,y日

「生物科学、材料科学におけるイメージングの統合化」

共催：日本顕微鏡学会関西支部、生理研研究会、自然科学研究機構連携研究

- | | | |
|-------|-------------|--------|
| 12月x日 | 13:30～18:30 | 講演会I |
| | 18:30～20:00 | レセプション |
| 12月y日 | 9:00～12:00 | 講演会II |
| | 13:30～17:00 | 講演会III |

5. 外国人講演会

- ・ Luis Comolli (LBLN, USA) 7/31
 - ・ Wah Chiu (Baylor College, Houston) 8/26
 - ・ Michael Marko (Wadsworth Center, NY) 9/14
6. 共済事業など（未定）

II. 予算

収入の部	(単位：円)
科 目	予 算
1. 本部からの補助金	
支部割当金収入	500,000

2. 雑収入	
特別企画要旨集代金	10,000
当期収入合計	510,000
3. 前期繰越金	797,741
合計	1,307,741

支出の部	(単位：円)
科 目	予 算
1. 支部事業費	
通信費	70,000
印刷費	0
事務費	10,000
会場費	0
会議費	20,000
総会費	0
交通費	200,000
外国人講演会費	50,000
支部特別企画補助金	50,000
2. 予備費	0
当期支出合計	400,000
3. 次期繰越金	907,741
合計	1,307,741

《九州支部》

I. 事業計画

1. 第20回九州電子顕微鏡技術研究会
日 時：平成19年9月8日（土）10:00～16:30
場 所：久留米市 福岡県青少年科学館
2. 第49回支部総会ならびに支部評議委員会の開催
日 時：平成19年12月1日（土）
場 所：九州大学産学連携センター（春日市）
会 長：桑野範之教授（九州大学 産学連携センター）

II. 予算

収入の部	(単位：円)
科 目	予 算
支部交付金	297,855
前年度繰越金	628,327
合計	926,182
支出の部	(単位：円)
科 目	予 算
支部総会助成	250,000
通信・郵送料	9,500
技術研究会助成	20,000
講演会・セミナー	50,000
印刷費・事務費	1,500
予備費	5,000
小計	336,000
次年度繰越	590,182
合計	926,182

◇平成18年度第4回理事会議事録

日 時：平成18年3月10日（土）15：00～17：00

会 場：東京八重洲ホール（東京都中央区）

出 席：（理事）山科正平，弘津禎彦，大谷 修，川上速人，平山 司，松井良夫，柿林博司，上野武夫，桑野範之，関口隆史，高井義造，中村裕昭，福島球琳男，藤川清三（兼北海道支部長）
（監事）依藤 宏，下山 宏

欧文編集委員長：市野瀬英喜

和文誌編集委員長：菅沼龍夫

技術認定委員長：立花利公

第63回学術講演会実行委員長：牛木辰男

第51回シンポジウム実行委員長：石村和敬

関東支部長：大野伸一

関西支部長：磯田正二（第64回学術講演会実行委員長）

九州支部長：加藤征治

第52回学会賞（瀬藤賞）選考委員長：高柳邦夫

第22回論文賞選考委員長：丹司敬義

【議 事】

定款により山科会長が議長となり，議事録署名人に平山・川上常務理事を選出した。議長挨拶ならびに理事会開催の定数に達していることを確認し，慣例によるオブザーバーの出席について議長より提案があり，承認した。平成18年度第3回理事会議事録の確認の後，議事に入った。

【会長挨拶】

山科会長

【議事録確認】

庶務常務理事より平成18年第3回理事会議事録について確認があり承認された。

【報告事項】

1. 庶務報告

庶務常務理事より会報の第一号が和文誌42-1で発行予定であることが報告され，承認された。

2. 会計報告

会計常務理事より会計報告がなされサマースクール，電子顕微鏡大学の収入が増えていることが報告された。また，JEM発行事業については発行の遅れにより予算に達していないこと，その他については概ね予算どおりであることが報告され，承認された。

3. 欧文誌編集委員会報告

欧文誌編集委員長より編集委員会の新メンバー，退任メンバーの報告および国外Editorとして，Mark Ellisman, Yimei Zhuの両氏を加えることが報告され，承認された。

4. 和文誌編集委員会報告

菅沼和文誌編集委員長より次期委員長を高井義造理事とし，併せて新委員および退任委員に関して報告され，承認された。また，和文誌進行状況および和文誌を年間3冊から4冊に増刷する件については編集業務を委託する場合のコストなどを検討している旨報告された。

5. 会員増強委員会報告

平成18年度学術講演会，IMC16，サマースクールの際に配布・回収されたアンケート結果のまとめについて報告された。正式に報告書として纏め，会員増強案についても提案したい旨説明があり，承認された。また次期会員増強委員長は次期副会長に引き継ぐ旨確認された。

6. 技術認定委員会報告

技術認定委員長より，次期委員長には産業医科大学の土肥良秋会員，また新委員および退任委員に関して報告され承認された。併せて，2007年度の電子顕微鏡技術認定試験開催日については10月13日（土），会場は例年通りに東京，京都，福岡の三会場で開催されることが報告され，承認された。

7. 第63回学術講演会準備状況報告

牛木実行委員長より準備状況，現状報告演題数，参加登録数について報告され，承認された。併せてプログラムは4月中旬に会員へ配布されることが報告された。

8. 第64回学術講演会準備状況報告

磯田実行委員長より平成19年5月28日（水）～30日（金）の日程で開催予定であり，準備状況，今後の日程など順調に準備が進んでいることが報告され，承認された。

9. 第51回シンポジウム準備状況報告

石村実行委員長より，徳島大学蔵本キャンパス長井記念ホールで平成19年10月19日（金）～20日（土）に開催予定であること，また瀬藤賞受賞講演をシンポジウムプログラムに組み込むこと，その他準備状況が報告され，承認された。

10. 第17回電子顕微鏡大学準備状況報告

電顕大学事務局長より，準備状況，高柳評議員から板東評議員に企画委員長を交代した件，プログラム確定の件，広報活動の進行状況などについて報告され，承認された。

11. 第18回電顕サマースクール準備状況報告

小澤実行委員長からの報告書を基に準備状況について報告され承認された。

12. 男女共同参画問題ワーキンググループ人選等報告

山科会長より男女共同参画問題ワーキンググループについて田中美代子会員，加藤直子会員，下条雅行会員，下条正子会員の4名にてワーキンググループとした件，および学会会期中の託児所設置などについての検討結果について報告され，承認された。

13. 支部報告

藤川北海道支部長より北海道支部講演会，総会が北海道大学学術交流会館にて滞りなく開催されたことが報告され，承認された。

大野関東支部長より関東支部講演会を東京工業大学大岡山キャンパスにて開催する予定であることが報告され，承認された。

磯田関西支部長より7月に支部評議会を開催予定であることが報告され，承認された。

加藤九州支部長より支部講演会が滞りなく開催されたことが報告され、承認された。

14. その他

a. IMC16 に関して

平山常務理事より IMC16 和文誌特集号、写真集発行などの進捗状況が報告され、承認された。

b. 電子顕微鏡研究開発・利用推進検討会報告書

山科会長より電子顕微鏡研究開発・利用推進検討会報告書の経緯について報告があり、和文誌に挟み込む件について提案され、承認された。

【議 題】

1. 日本顕微鏡学会平成 19～20 年度会長、理事・監事、評議員選挙の件

資料に基づき選挙結果に関する報告され、承認された。

2. 平成 19 年度分科会・研究部会の件

弘津学術運営委員長より平成 19 年度設置申請をしている分科会の 6 件・研究部会の 3 件について報告された。また最終締切りまで時間があるので引続き受付し、設置数を増やしたいと報告され、審議の上承認された。

3. 各賞受賞者の件

①高柳選考委員長より第 52 回日本顕微鏡学会学会賞（瀬藤賞）選考経過報告がなされ、審議の上次の受賞候補者が承認された。

【A：顕微鏡基礎部門（A-1）】森田清三

「原子間力顕微鏡の高分解能化と原子の識別・操作・組み立てへの応用」

【A：顕微鏡基礎部門（A-3）】大野伸一

「生体内凍結技法の開発と医学生物学応用研究」

【B：応用研究（生物）部門】菅沼龍夫「高圧凍結技法の改良と胃底腺機能動態解析への応用研究」

【C：応用部門（非生物）部門】幾原雄一

「粒界構造解析の高度化と定量化に関する研究」

②丹司選考委員長より第 22 回日本顕微鏡学会論文賞・和分誌賞選考経過報告がなされ、審議の上次の受賞候補者が承認された。

a. 顕微鏡法基礎部門

Transfer doublet and an elaborated phase plate holder for 120 kV electron-phase microscope. J. Electron Microscopy, Vol. 54, No. 4, 317-324 (2005)

著 者：Fumio Hosokawa, Radostin Danev, Yoshihiro aria and Kuniaki Nagayama

b. 応用研究生物部門

In vivo subcellular ultrastructures recognized with Hilbert differential contrast transmission electron microscopy. J. Electron Microscopy, Vol. 54, No. 1, 79-84 (2005)

著 者：Yasuko Kaneko, Radostin Danev, Koji Nitta and Kuniaki Nagayama

c. 応用研究非生物部門 該当無し

d. 和文誌賞

「理論計算に基づいた ELNES の解釈 (1)」, 顕微鏡, Vol. 40, No. 2, 116-119 (2005)

「理論計算に基づいた ELNES の解釈 (2)」, 顕微鏡, Vol. 40, No. 3, 172-175 (2005)

著 者：田中 功, 溝口照康

③板東選考委員長に代わり市野瀬編集委員長より第 12 回日本顕微鏡学会技術功労賞選考経過報告がなされ、審議の上次の受賞候補者が承認された。

候補者：小野昭成 業績題目：「超高分解能 SEM の開発と応用技術の普及」

④古屋選考委員長に代わり山科会長より第 8 回日本顕微鏡学会奨励賞選考経過報告がなされ、審議の上次の受賞候補者が承認された。

II. 生物系応用研究奨励賞

候補者：澤口 朗 業績題目：高圧凍結技法による胃粘膜組織の超微形態ならびに組織化学的研究

III. 物質系応用研究奨励賞

候補者：加藤丈晴 業績題目：集束イオンビーム法による TEM 試料作製技術の応用

4. 瀬藤賞受賞講演の件

山科会長より今回の学術講演会はタイトなスケジュールであるため第 51 回シンポジウムで受賞者講演会を開催してはどうかとの提案があり、審議の上承認された。

5. 平成 19 年度事業計画の件

川上常務理事より平成 19 年度は、新規事業として 60 周年記念大会の準備、名簿作成、男女参画への取組みなどを加えることが報告され、審議の上承認された。

6. 平成 19 年度収支予算の件

大谷常務理事より平成 19 年度予算について説明があり、審議の上承認された。

7. 名誉会員推薦の件

川上常務理事より平成 19-20 年度に推薦条件を満たす会員については、19 年度の理事会にて推薦し、19 年度の総会にて議題とすることが提案され、審議の上承認された。

8. 平成 18 年度総会議案提出の件

川上常務理事より平成 19 年総会にて審議される議案について説明され、審議の上承認された。

9. 支部割当金の件

川上常務理事より次年度支部割当金については従来どおりの計算法とし、変更は行わない旨提案があり、審議の上承認された。

10. 規定および内規訂正の件

平山常務理事より修正点について資料をもとに説明があり、審議の上承認された。また、公益法人改革に関連して 19 年の事業計画に定款の変更準備が必要であり平成 20 年までに変更する必要があることが報告され、審議の上承認された。

11. 会員名簿作成の件

川上常務理事より名簿作成の概略が説明された、また委員

会を設立し3～4名の委員を任命し進める件について提案があり、審議の上承認された。

12. 入会・退会の件

川上常務理事より入会・退会の状況について報告され、審議の上承認された。

13. 協賛等の件

川上常務理事より協賛4件、公募2件について報告され、審議の上承認された。

14. その他

a. 川上常務理事より学術講演会等の公募方法について提案され、審議の上承認された。

b. 川上常務理事より年間予定表について説明があり、審議の上承認された。

c. IFSM, CAPSM の件

平山常務理事より、日本顕微鏡学会のIFSM, CAPSMへの関与の状況について説明があり、学会として代表者を選出する必要性について議論した。その結果、4年程度の任期で代表者を選出する方向で継続審議となった。

◇平成18年度第5回理事会議事録

日時：平成19年5月19日（土）15：30～17：30（理事会）

会場：新潟朱鷺メッセ 小会議室 203-204（新潟県新潟市万代島6番1号）

出席：（理事）山科正平、弘津禎彦、大谷 修、川上速人、平山 司、松井良夫、柿林博司、上野武夫、桑野範之、関口隆史、高井義造（和文誌編集委員長）、福島球琳男、永山國昭
（監事）依藤 宏、下山 宏

欧文編集委員長：市野瀬英喜

第63回学術講演会実行委員長：牛木辰男

第51回シンポジウム実行委員長：石村和敬

IMC事務局：飯島澄夫、古屋一夫、森博太郎

北海道支部長：亘理文夫

大野伸一、磯田正二、進藤大輔、高橋一郎、杉山昌章、大槻勝紀、出澤真理、年森清隆、山口正視

【議 事】

定款により山科会長が議長となり、議事録署名人に平山・川上常務理事を選出した。議長挨拶ならびに理事会開催の定数に達していることを確認し、慣例によるオブザーバーの出席について議長より提案があり、承認した。平成18年度第4回理事会議事録の確認の後、議事に入った。

【会長挨拶】

山科会長

【報告事項】

1. 庶務報告

川上常務理事より、平成21年度以降の学術講演会等について、公募案内をホームページおよび欧文誌に挟み込み配布したことが報告され、承認された。

2. 会計報告

大谷常務理事より、平成19年4月28日に、監査が終了したことが報告され、承認された。

3. 欧文誌編集委員会報告

市野瀬欧文誌編集委員長より、日本学術振興会から平成19年度の科研費は290万円を交付予定との通知があったことが報告され、承認された。

4. 和文誌編集委員会報告

菅沼和文誌編集委員長より42巻1号を3月末に発刊したこと、42巻2号は7月発刊予定であること、和文誌別冊については、IM16組織委員会と進めており夏頃の刊行予定であることが報告された。また和文誌編集委員会の予定および和文誌季刊化の経費、バックナンバーのPDF化など、会員へのサービス向上を目的とした試算を進めていることが報告され、承認された。

5. 各支部報告

・藤川北海道支部長より、平成18年度事業および決算報告、平成19年度の事業計画について報告され、承認された。

・大野関東支部長代理より、平成18年度事業および決算報告、平成19年度の事業計画について報告され、承認された。

・磯田関西支部長より、平成18年度事業および決算報告、平成19年度の事業計画について報告され、承認された。

・桑野九州支部長代理より、平成18年度事業および決算報告、平成19年度の事業計画について報告され、承認された。

6. 分科会・研究部会報告

弘津学術運営委員長より平成18年度報告、平成19年度計画について報告され、平成19年度は、4件の研究部会、7件の分科会となる旨報告され、承認された。

7. 会員増強委員会報告

弘津会員増強委員長より平成18年度会員増強委員会の活動について報告があり承認された。また、各イベントで配布したアンケートの分析結果が報告された。

8. 広報委員会報告

丹司広報委員長より平成18年度活動報告に引き続き、平成19年度ではHP、英語サイトの充実を計画していることなどが報告され、承認された。

9. 技術認定委員会報告

技術認定委員長よりの資料を元に平成18年度活動報告、および平成19年度活動計画が報告され、承認された。

10. 第63回学術講演会準備状況報告

第63回学術講演会牛木実行委員長より準備状況について報告された。

11. 第64回学術講演会準備状況報告

第64回学術講演会について、平成19年5月21日（水）～23日（金）に開催予定であること、会場は国立京都国際会館を予定していること、材料系プログラム委員長には倉田

評議員、生物系は出澤会員が担当すること、委託業者としてアイキューブつくばとすることが報告され、承認された。

12. 第18回サマースクール準備状況報告

平成19年7月27日(金)～28日(土)に開催予定であり、和文誌やHPにすでに掲載済みであることが報告され、承認された。

13. 第51回シンポジウム準備状況報告

石村実行委員長より第51回シンポジウムは徳島大学にて平成19年10月19日(金)～20日(土)で予定しており、タイトルを「顕微鏡の今とこれからのについて」とすることが報告され、承認された。

14. 第16回国際顕微鏡学会報告

飯島組織委員長、古屋事務局長、森委員よりIMC16の公認会計士による監査を終了したことが報告され、承認された。なお、20年後の日本での開催に向けて準備を心がけて欲しい旨が要請された。

【議 題】

1. 平成18年度事業報告の件

川上庶務常務理事より平成18年度日本顕微鏡学会の庶務関連、会員数、事業に関する報告があり、審議の上承認された。昨年度はシニア会員を設けたことなどの成果として、会員の減少傾向に歯止めがかかったことが報告された。

2. 平成18年度収支決算報告の件

大谷会計常務理事より平成18年度日本顕微鏡学会の会計報告が行われ、審議の上承認された。

3. 監査報告の件

依藤監事より平成19年4月28日に監査を行い、公正かつ適正に処理されていることを確認した旨、また公認会計士の監査報告書を添えて報告があり、審議の上承認された。

4. 平成19年度事業計画の件

川上庶務常務理事よりほぼ例年どおりの計画であるが、19年度には会員名簿の作成、男女共同参画への取り組み、60周年記念事業の準備などが加わることが報告された。また名簿作成委員会を発足し準備を進めていることが報告され、審議の上承認された。

5. 平成19年度収支予算の件

大谷会計常務理事より事業収支予算について、JEMの電子化による支出の減少などが報告され、承認された。

6. 会費滞納者除名の件

川上庶務常務理事より会費滞納者について報告がなされ8月末までに会費納入がない場合は除名することが報告され、審議の上承認された。

7. 学会規定改訂の件

川上庶務常務理事より学会規定の改訂について報告され、審議の上承認された。

8. 総会・評議員会運営の件

川上庶務常務理事より総会・評議員会進行について説明があり、審議の上承認された。

9. 入退会の件

川上庶務常務理事より入退会者について報告され、審議の上承認された。

10. 協賛等の件

川上庶務常務理事より協賛・共催、記事依頼について報告され、審議の上承認された。

11. その他

a. 国際会議積立金の名称変更について

大谷会計常務理事より、これまでの国際会議関係預金、国際会議積立預金を平成18年度に国際会議関係預金として一本化したこと、また次期IMC開催準備金口座を開設したことが報告され、審議の上承認された。

b. 次期理事会への申し送り事項について

川上庶務常務理事より次期理事会への12項目の申し送りについて説明がなされ、審議の上承認された。

◇平成19年通常総会要旨

平成19年5月21日11時45分より新潟県新潟市 新潟コンベンションセンター朱鷺メッセにおいて平成19年通常総会を開催した。

定足数：123名（役員および評議員総数244名の1/2）

出席者：138名（うち書面による出席者61名）

第1号議案 平成18年度事業報告の件

議長は標記議案について、川上常務理事に説明を求め、同常務理事より報告があり、議長が出席者の意見を徴したところ、満場異議なく承認された。

第2号議案 平成18年度収支決算報告の件：承認

第3号議案 監査報告：承認

第4号議案 平成19年度事業計画の件：承認

第5号議案 平成19年度収支予算の件：承認

第6号議案 JEM電子化の件：承認

第7号議案 会費滞納者除名の件：承認

第8号議案 次期評議員選任の件：承認

第9号議案 次期役員選任の件：承認

退任および新任の理事・監事は次のとおりである。

（退任理事）山科正平、弘津禎彦、平山 司、松井良夫、川上速人、大谷 修、藤川清三、柿林博司、上野武夫、関口隆史、中村裕昭、福島球琳男、横田貞記、高井義造、永山國昭、桑野範之。

（退任監事）下山 宏、依藤 宏

（新任理事）高柳邦夫、菅沼龍夫、川上速人、竹田精治、大谷 修、杉山昌章、亘理文夫、高橋一郎、年森清隆、進藤大輔、楠美智子、出澤真理、依藤 宏、福島球琳男、弘津禎彦、柿林博司

（新任監事）山口正視、石村和敬

理事は互選の結果を次のとおり議長に報告し、議長は総会の再開を宣し、理事互選結果を報告し、満場異議なく承認された。

会 長：高柳邦夫 副 会 長：菅沼龍夫

常務理事：川上速人、竹田精治、大谷 修、杉山昌章

以上で議案全ての審議を終了し、議長は13時00分に閉会を宣した。

◇関係学協会の案内

1) SURTECH2007

テーマ：ものづくり—表面技術のすべてがわかる—

主催：日本表面技術協会

日時：2007年9月5日（水）～9月7日（金）

会場：幕張メッセ 展示ホール7

問い合わせ先：〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-13

本郷コーポレイション402

TEL: 03-3812-0266 FAX: 03-3812-2897

E-mail: shomu@sssj.org

2) 第47回真空夏季大学及び第48回真空に関する連合講演会

主催：日本真空協会

日時：2007年8月22日（水）12:15より～（3泊4日）

8月25日（土）12:15まで

会場：伊豆網代温泉松風苑

〒413-0102 静岡県熱海市下多賀660

TEL: 0557-68-3151

<http://www.shoufuen.jp/>

問い合わせ先：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号

機械振興会館306号室 日本真空協会

TEL: 03-3431-4395 FAX: 03-3433-5371

E-mail: ofc-vs@vacuum-jp.org

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/vs/>

3) International Symposium on Surface Science and Nano technology

主催：日本表面科学会

日時：2008年11月9～13日

会場：早稲田大学総合学術センター

〒113-0033 文京区本郷2-40-13

本郷コーポレイション402

問い合わせ先：ISSS-5 国際会議委員会

TEL: 03-3812-0266 FAX: 03-3812-2897

<http://www.sssj.org/iss5>

4) 暮らしを支える科学と技術展—世界を変える応用物理—

主催：(社)応用物理学会

日時：2007年8月3日（金）～4日（土）の2日間

会場：科学技術館（日本科学技術振興財団）

問い合わせ先：〒102-0073 東京都千代田区九段北1-12-3

井門九段北ビル5階

TEL: 03-3238-1041（代）

FAX: 03-3221-6245

<http://www.jsap.or.jp/jsap75/index.html>

5) 触媒道場開催のお知らせ

主催：触媒学会

日時：2007年8月6日（月）～8日（水）

会場：岡山県倉敷市有城1265 公共の宿 山陽ハイッ

〒680-8552 鳥取市湖山町南山町南4-101

問い合わせ先：鳥取大学工学部物質工学科

片山直伸

TEL/FAX: 0857-31-5684

E-mail: Katada@chem.tottori-u.ac.jp

<http://www.chem.tottori-u.ac.jp/~dojo/>

6) 平成19年度芽コンファレンス案内最新のスピ科学とスピ技術

主催：慶応義塾大学工学部・教授 宮島英紀

日時：2007年8月19～8月22日

会場：長野県長野市松代町西寺尾1372-1

信州松代ロイヤルホテル

問い合わせ先：〒277-8581 千葉県柏市柏の葉5-1-5

東京大学物性研究所ナノスケール物性研究部門

大谷研究室 川村順子

TEL & FAX: 04-7136-3475

E-mail: junko@issp.u-tokyo.ac.jp

<http://yotani.issp.u-tokyo.ac.jp/45kaya/>

7) 日本金属学会講習会

主催：日本金属学会関東支部

日時：2007年8月24日（金）9:30～17:00

会場：東京理科大学生涯学習センター（森戸記念館）

第一フォーラム 新宿区 神楽坂4-2-2

問い合わせ先：〒113-8656 東京都文京区文京区本郷7-3-1

東京大学大学院工学研究科 マテリアル工学専攻内

日本金属学会関東支部 石川百合子

TEL: 03-5841-7095 FAX: 03-5841-7095

8) 形態・細胞生物医科学分科会／細胞生物学分科会合同シンポジウム

主催：日本学術会議

日時：2007年9月8日（土）午後1時から

会場：東京大学小柴ホール日本学術会議

問い合わせ先：形態・細胞生物医科学分科会／細胞生物学分科会

合同シンポジウム世話人 大阪大学医学系研究科 内山安男, 米田悦啓

9) VACUUM2007—第29回真空展

主催：日本真空工業会 日本真空協会

日時：2007年9月12日（水）～9月14日（金）

10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト [有明・東京国際展示場]

東4ホール

問い合わせ先：(株)シー・エヌ・ティ

〒101-0048 東京都千代田区神田司町

2-2-2 大森ビル4F

TEL: 03-5297-8855 FAX: 03-5294-0909
E-mail: event.07@jvia.gr.jp

10) 暮らしを支える科学と技術展—世界を変える応用物理—

主 催：(社) 応用物理学会
日 時：2007年8月3日(金), 4日(土)
会 場：科学技術館(東京都千代田区)
問い合わせ先：応用物理学会
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-12-3
TEL: 03-3238-1041 FAX: 03-3221-6245
http://www.jsap.or.jp/jsap75/event_plan.html

11) 第4回可視化技術ワークショップ

主 催：特定非営利活動法人・総合画像研究支援
日 時：2007年11月10日(土)
会 場：日本女子大学80年館851番教室
TEL: 03-3515-6477
<http://www.jiirs.org>

12) 第27回表面科学講演大会 講演募集

主 催：日本表面科学会
日 時：2007年11月1日(木)～3日(土)
会 場：東京大学生産技術研究所(駒場)コンベンション
ホール
〒153-8505 目黒区駒場4-6-1
TEL: 03-5452-6008(代表)
問い合わせ先：〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16
学会センタービル
(財)学会誌刊行センター内 日本表面科
学会編集委員会
TEL: 03-3817-5821 FAX: 03-3817-5830

13) JST Innovation Bridge 事業への参加について

主 催：社団法人日本鉄鋼協会
日 時：2007年9月18日(火)13:00～17:00
会 場：グランパレス岐阜
問い合わせ先：〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2
新倉ビル2階
社団法人日本鉄鋼協会総務グループ 大島
TEL: 03-5209-7011 FAX: 03-3257-1110

14) 有機バイオ SPM 研究会・2007

主 催：応用物理学会 有機分子・バイオエレクトロニク
ス分科会(M&BE分科会)
日 時：2007年8月28日(火)13:00～
29日(水)13:00
会 場：幕張メッセ(分析展2007併設)
問い合わせ先：有機バイオ SPM 研究会2007
世話人 杉山 滋(独)農研機構・食品総
合研究所
TEL: 029-838-8054 FAX: 029-838-7181
E-mail: ssugi@affrc.go.jp

15) 2008年度 女性科学者に明るい未来をの会「猿橋賞」
受賞候補者の推薦依頼について女性

主 催：科学者に明るい未来をの会
締 切：2007年11月30日(必着)
問い合わせ先：〒168-0071 杉並区高井戸西3-6-26
古在由秀方
女性科学者に明るい未来をの会
saruhashi2006@saruhashi.net

16) 第10回薄膜基礎講座

主 催：日本表面科学会
日 時：2007年9月12日(水)～13日(木)
会 場：東京大学 山上会館2階大会議室
東京都文京区本郷7-3-1
TEL: 03-3812-2111
〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-13
本郷コーポレーション402
問い合わせ先：日本表面科学会・第10回薄膜基礎講座係
TEL: 03-3812-0266 FAX: 03-3812-2897
E-mail: shomu@sss.jp

17) 第44回表面科学基礎講座 表面・界面分析の基礎と応
用

主 催：日本表面科学会
日 時：2007年10月3日(水)～10月4日(木)
会 場：大阪大学銀杏会館
吹田市山田丘2-2
TEL: 06-6879-3006
<http://www.ichou.or.jp/access/access.html>

問い合わせ先：〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-13
本郷コーポレーション402
日本表面科学会・第10回薄膜基礎講座係
TEL: 03-3812-0266 FAX: 03-3812-2897
E-mail: shomu@sss.jp

18) 第55回応用物理学関係連合講演会共催へのご依頼

主 催：社団法人応用物理学会
日 時：平成20年3月27日(木)～30日(日)
会 場：日本大学理工学部船橋校舎(千葉, 船橋市)
問い合わせ先：社団法人応用物理学会
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-12-3
井門九段北ビル5階
TEL: 03-3238-1041(代)
FAX: 03-3221-6245

19) 2007年度日本物理学会科学セミナー「先端光科学が生
み出す新しい世界」

主 催：社団法人日本物理学会
日 時：2007年8月24日(金), 25日(土)
会 場：電気通信大学 B棟B221(京王線「調布駅」北
口より徒歩3分)
<http://www.uec.ac.jp/index.html>
問い合わせ先：社団法人応用物理学会
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-12-3
井門九段北ビル5階

TEL: 03-3238-1041 (代)

FAX: 03-3221-6245

東京理科大学理工学部応用生物科学科

TEL: 04-7122-9387 FAX: 04-7123-9767

E-mail: takarai@rs.noda.tus.ac.jp

20) Mate2008

主催: 社団法人溶接学会

日時: 2008年2月5日(火)～6日(水)

問い合わせ先: 社団法人溶接学会

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町
1-11 産報佐久間ビル5階

TEL: 03-3253-0488 FAX: 03-3253-3059

21) JST-SORST (物理・情報系) フォーラム 2007 新「物質・機能」の開拓と未来への展望

主催: 独立行政法人科学技術振興機構

日時: 2007年11月22日(木) 10:00～17:30

会場: 日本科学未来館 7階 みらいCANホール

問い合わせ先: 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-4-15
八重洲通ビル6階

科学技術振興機構 発展研究事務所

TEL: 03-3548-3230 FAX: 03-3548-3231

E-mail: sorst07@#-NO-#yaesu-sorst.jst.
go.jp (メールアドレスは「#-NO-#」を削除してご利用ください)

22) 京都大学生存圏研究所教員公募

主催: 京都大学生存圏研究所

締切: 2007年6月21日(木)～2007年8月24日(金)
正午(必着)

問い合わせ先: 京都大学生存圏研究所生存圏診断統御研究系

准教授候補者選考委員会委員長 杉山淳司

TEL: 0774-38-3832

E-mail: sugiyama@rish.kyoto-u.ac.jp

23) JFCC ナノ構造研究所主催国際会議 (AMTC1)

主催: 財団法人ファインセラミックスセンター (JFCC)

日時: 2008年6月29日～30日

会場: 名古屋国際会議場 愛知県名古屋市熱田区

問い合わせ先: 株式会社JTB サポート中部JTB イベント
& コンベンションサービス

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-16-
21

名古屋三井物産ビル2階

TEL: 052-541-2521 FAX: 052-541-2520

E-mail: amtcl@jecs.org

24) 第16回日本バイオイメーシング学会学術集会

主催: 日本バイオイメーシング学会

日時: 2007年10月31日 13:00～18:40

会場: 東京理科大学セミナーハウス

千葉県野田市山崎2669

問い合わせ先: 第16回日本バイオイメーシング学会大会長
新井孝夫

〒278-8510 千葉県野田市山崎2641

25) 第28回表面科学セミナー「精密薄膜構造解析の最前線」

主催: 日本表面科学会

日時: 2007年10月10日(水)～11日(木)

会場: 東京大学 山上会館2階大会議室
東京都文京区本郷7-3-1

TEL: 03-3812-2111

問い合わせ先: 〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-13

本郷コーポレイション402

日本表面科学会・第28回表面科学セミナー係

TEL: 03-3812-0266 FAX: 03-3812-2897

E-mail: shomu@sss.jp

26) 2007分析展 特別講演 高柳邦夫先生(社団法人日本顕微鏡学会会長, 日本表面科学会会長, 東京工業大学教授)

主催: 独立行政法人科学技術振興機構

日時: 2007年8月29日(水)～31日(金)

〈ブース展示〉

2007年8月30日(木) 13～17時

〈公開シンポジウム〉

会場: 幕張メッセ(千葉市美浜区)国際展示場4・5・6
ホール ブースNo. R-10

コンベンションホールA〈公開シンポジウム〉

問い合わせ先: 独立行政法人科学技術振興機構 戦略的創造事業本部 先端計測技術推進部

〒102-0075 東京都千代田区三番町5

三番町ビル5階

TEL: 03-3512-3529 FAX: 03-3222-2067

E-mail: skato@jst.go.jp

URL: <http://www.jst.go.jp/sentan.html>

27) 第32回組織細胞化学講習会

—組織細胞化学の基本から先端技術まで—

主催: 日本組織細胞化学会

日時: 2007年8月7日(火)講習会第1日目

2007年8月8日(水)講習会第2日目

2007年8月9日(木)技術講習会(Wet Lab)

会場: 京都芸術劇場 春秋座

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

京都造形芸術大学内

技術講習会: 京都府立医科大学基礎医学学舎・実習棟

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465

問い合わせ先: 実行委員長 河田光博

京都府立医科大学大学院医学研究科 解剖学 生体構造科学部門

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465

TEL: 075-251-5301 FAX: 075-251-5306

E-mail (問い合わせ) : info_32kjsbc@nacos.com

E-mail (パンフレット請求) :
panf_32kjsbc@nacos.com

◇平成19年度分科会活動方針・活動内容

1. バイオメディカルニューマイクロスコープ分科会

世話人：松野 彰

1) 活動方針

本分科会は、医学生物学分野において“生命現象をありのままに捉える”ことを主な命題としている。細胞のダイナミズムを中心に、ホルモンをはじめとする生体調節因子・遺伝子の発現・調節・発生から分泌にいたる細胞内での動態とその異常を、電子顕微鏡に基礎をおきつつ、生命現象の可視化のための新しい技術や共焦点顕微鏡をはじめとする新しい観察方法を積極的に導入・活用し、総合的な解析を試みることを目的としている。これまでにナノクリスタルをはじめとする新しい蛍光物質、さらにはハードウェアの面でも全反射顕微鏡・4次元顕微鏡・レーザーラマン顕微鏡などが開発されてきている。本分科会では平成19年度も、これらに関するシンポジウムを開催し、新たなソフトウェア・ハードウェアを生命科学現象の観察・解析に応用し発展させていくことを活動方針とする。

2) 平成19年度分科会活動内容

平成19年度も、顕微鏡科学およびその関連分野の新たな発展に対処し、啓発・振興を図る。医学生物科学分野への新しい適用を目指し、新しい学問分野と技術体系を格段に発展させるために、日本顕微鏡学会学術講演会においてシンポジウムを設けるなど積極的に参加し、研究成果を公表する。さらに活動成果を広く会員に還元する目的で、年1回の講演会・シンポジウムを開催する。また、研究成果を学会誌(和文、英文)に投稿する。これらの活動を通じて、本学会員の拡大に努め、学会の活性化に寄与することを目指す。また、ひきつづきさらに広く各企業への働きかけを拡大発展させ、日本顕微鏡学会の賛助会員としての参加を要請していきたい。平成19年度も、3月に本分科会主催の講演会を、帝京大学板橋キャンパス内、医療技術学部、講義室において予定している。

3) 分科会問い合わせ先・連絡先

日本顕微鏡学会バイオメディカルニューマイクロスコープ分科会

代表世話人 松野 彰

帝京大学ちば総合医療センター脳神経外科

TEL: 0436-62-1211 ext. 2623 FAX: 0436-62-1357

E-mail: akirakun@med.teikyo-u.ac.jp

事務担当幹事 伊東丈夫

東海大学医学部教育・研究支援センター

TEL: 0463-93-1121 ext. 2581 FAX: 0463-91-1370

E-mail: itohj@is.icc-u.tokai.ac.jp

2. 分析電子顕微鏡分科会

世話人：市野瀬英喜

1) 活動方針

分析電子顕微鏡は、装置の開発・改善と共にこれを利用した解析技法の進展が図られている。また、分析電子顕微鏡は様々な材料の開発・研究に必要不可欠な装置となっており、

多数の研究者や技術者が利用している状況にある。このような中で申請の分科会では「分析電子顕微鏡討論会」を開催し、基礎および応用の両面から分析電子顕微鏡とその周辺技術について最新情報を含めながら紹介する。また、電子顕微鏡に携わる多くの研究者・技術者の意見や要望に応える形で分科会を運営し、分析電子顕微鏡技術の啓蒙に努める。

これまで分析電子顕微鏡研究部会、分析電子顕微鏡分科会を通して、平成18年度で22回を数える分析電子顕微鏡討論会を開催するなど積極的な活動を行ってきた。同討論会参加者アンケートによれば、分析電子顕微鏡の「基礎技術」、「材料解析への応用」、「最新技術の開発」についての情報交換を望む声が強くなることから、分科会としてこれらの要望に応じていく。特に半導体材料の製造プロセスの開発やその特性改善には分析電子顕微鏡の統合的な機能が要求されている。また、「ナノテクノロジー」に関しても分析電子顕微鏡が担う役割は重要である。さらに、IT技術の発展の中で、分析電子顕微鏡技術をどのように活用していけるかを探求する。

2) 平成19年度分科会活動内容

「第23回分析電子顕微鏡討論会」を下記の通り開催する。

内容：EDS, EELS および STEM に関する基礎(チュートリアル)と3次元可視化技法の新展開(電子線トモグラフィ等)を紹介するとともに、最新分析技法の応用例に関する紹介(ホログラフィー、低加速SEM等)や試料作製法についての講演を企画する。また特別講師を招いての特別講演ならびに一般講演も行う。

期 日：平成19年8月28日(火)、29日(水)

会 場：幕張メッセ 国際会議場2F 国際会議室(分析機器工業会主催の分析展と同時に開催)

*詳細については、<http://www.caret.hokudai.ac.jp/bunseki/>を参照のこと。

3) 分科会問い合わせ先・連絡先

坂口紀史

北海道大学エネルギー変換マテリアル研究センターマルチスケール機能集積分野

E-mail: bunseki@ufml.caret.hokudai.ac.jp

URL: <http://www.caret.hokudai.ac.jp/bunseki/>

3. 超分解能電子顕微鏡分科会

世話人：高柳邦夫

高分解能電子顕微鏡は、球面収差補正装置が実用化されたため、新たな展開の局面にある。1000kV電圧でなくても高い分解能が得られるポテンシャルを有した現在、2つの発展方向が議論されている。

ひとつは、色収差補正装置を開発して、更に分解能の向上を目指す発展であり、もうひとつは、生物や材料への応用である。前者は、アメリカのTEAMプロジェクトの2008年度目標であり、わが国の研究は電子工学など基礎面で遅れをとっている。後者は、10ピコ・プローブの応用法を探索して、生命や材料研究を先導していく必要が叫ばれている。

超分解能電子顕微鏡研究会は、色収差補正とHR顕微鏡法の開発・探索、しかるべき方向を見出すことを目標として、

H19 年度にも継続して検討を進める。

問い合わせ先

東京工業大学大学院理工学研究科物性物理学専攻

〒152-8551 東京都目黒区大岡山2-12-1-H51

TEL: 03-5734-2078 ex. FAX: 03-5734-2232

E-mail: takayang@phys.titech.ac.jp

4. 走査電子顕微鏡分科会 世話人：山下美香

1) 活動方針

SEM で得られた試料情報の効果的活用に関する研究報告や多岐にわたる試料前処理技法、観察技法などを議論する場は少ないことから、SEM に携わる研究者や技術者に対して研究成果の共有を図るとともに SEM の有効利用に関する様々な技法を議論する場を提供することを主目的とする。また、活動を通して得られた成果を広く普及し、会員増加に寄与する。

2) 平成 19 年度分科会活動内容

第 63 回学術講演会において、シンポジウム「真の姿を観る SEM テクニック」を企画し、SEM で真の姿を見る上で致命的な欠陥となりうる「チャージアップ」に焦点を絞り、会員に情報提供を行った。また、技術交流の場として、下記講演会 (SCANTECH 2007) を開催する。

◇SCAN TECH 2007

“これで解決!! 失敗から学ぶ SEM テクニック”

○日 時：2007 年 9 月 14 日 (金) 10:00 ~ 18:30

○場 所：日本女子大 80 年館 851 教室

○参加費 (予稿集代を含む)

事前登録者：4,500 円 (日本顕微鏡学会会員)

5,500 円 (一般)

当日登録者：5,000 円 (日本顕微鏡学会会員)

6,000 円 (一般)

学 生： 3,000 円

○プログラム (案)：

1. データ解釈を失敗しないための基礎

1) 入射電子の試料内振る舞い (シミュレーション) からみた SEM 画像

石谷 亨 (日立ハイテクノロジーズ)

2) 各種 SEM における電子検出法と像の見え方の違い

小野昭成, 柴田昌照 (日本電子)

3) 各社検出器による SEM 像コントラストの違いの紹介

①日本電子 菊地直樹, 柴田昌照

②日立ハイテクノロジーズ 多持隆一郎, 渡邊俊哉

③エスアイアイ・ナノテクノロジー 立花繁明

④日本エフイー・アイ 中村美樹

2. 計測—あなたの計測は正しいですか?—

1) SEM の倍率精度を低下させる要因

渡邊俊哉 (日立ハイテクノロジーズ)

2) 断面 SEM における測長再現性評価 濱口 晶 (東芝)

3) SEM 画像の立体化と表面計測 直江紀英 (西華産業)

3. 分析—こんな間違いをしたことはありませんか—

1) EDX 分析と WDX 分析で注意すべき点

三井千珠 (オックスフォードインストゥルメンツ)

2) 故障解析における SEM の役割と限界

井原悖行 (楠本化成)

4. ポスターセッション&フリートリーキング

*ここでは演者によるポスター展示、一般参加者を含めた自由討議の場を提供する。また一般参加者による簡単なプレゼンテーションも可能である。

※上記に関する最新情報は、走査電子顕微鏡分科会のホームページを参照されたい。

3) 分科会問い合わせ先・連絡先

世話人：山下美香

(株) コーサー研究所 基礎研究室 分析研究グループ

E-mail: mika-y@kose.co.jp

走査電子顕微鏡分科会ホームページ：

<http://homepage1.nifty.com/scantech/>

5. 走査型プローブ顕微鏡分科会 世話人：富取正彦

幹 事：森田清三 (大阪大学), 藤田大介 (物質・材料研究機構), 斎木敏治 (慶應義塾大学), 山田啓文 (京都大学), 菅原康弘 (大阪大学), 大西 洋 (神戸大学), 牛木辰男 (新潟大学), 杉村博之 (京都大学), 粉川良平 ((株) 島津製作所)

本分科会では、急速に進歩・多様化しつつある走査型プローブ顕微鏡 (SPM) の研究領域を、日本顕微鏡学会内で継続的・普遍的に進展させるための活動を展開する。

SPM は、先端が鋭利なプローブ (探針) を試料表面に近づけて、探針と試料間で授受される物理量 (探針と試料間の距離に敏感に変化する量) を高感度測定し、探針—試料間距離を制御しながら探針を試料表面に沿って走査して凹凸像を描きだす。SPM の一つは走査型トンネル顕微鏡 (STM) であり、探針—試料間のトンネル電流を利用して凹凸像を描きだし、電子状態計測や原子・分子の操作・化学反応制御もできる。また、原子間力顕微鏡 (AFM) はナノスケールの粗さ計として材料科学・ナノテクノロジーに必須の装置となり、分解能も原子スケールとなり、最近では原子・分子間力に基づいた科学技術を支える装置として発展している。近接場光学顕微鏡 (SNOM) は光の波長限界を超える分解能をもつ光学顕微鏡/分光法として急速に普及・発展しつつある。その他、多種多様な SPM が登場している。また、動作環境も、真空・低温から大気圧・高圧下・液中まで幅広い。本分科会では、SPM の高度化・新開発、他の顕微鏡・分析装置との複合化・多機能化装置開発、有機・バイオ材料の微視的評価、電子材料・デバイスの原子レベルの解析、固体・電極表面における原子・分子過程の研究、電子材料・デバイスの評価、原子・分子操作、理論検討などを行う。

本分科会では、昨年の IMC16 でのシンポジウムへの参加や、昨年 12 月・京都で「原子間力顕微鏡による電位計測—ケルビン力顕微鏡は何を見ているのか?—」研究会を開催

し、60名ほどの参加者によって新展開を見せるAFM関連技術の状況・問題点とその未来を活発に検討した。19年度の特色ある活動として、第63回学術講演会で「SPMの最近の応用展開（多環境の物性測定からバイオ応用まで）」共通シンポジウムを「SPMで生命現象を捉える手法の開発研究部会」と協力して開催した。また、今年、顕微鏡学会員にとって魅力的なSPMの新技术と融合分野への展開を睨んだ研究会の開催を予定している。その成果を本学会誌などで発表し、SPMの普及と活性化に努める。

6. 生体構造解析分科会 世話人：宮澤淳夫

1) 活動方針

原子レベルから細胞レベルに至るより広い意味での生体構造の解析、ならびにそれらの構造解明に関わる研究全般の発展と振興をはかるため、その基礎となる電子顕微鏡法の研究・技術開発を重点的に展開します。特に、生体機能において重要な役割を果たすことが判明してきたタンパク質複合体の解析や、生きた状態に近い細胞内における生体分子の立体構造と局在の解析を行うために、これまでのタンパク質の構造解析手法である電子線結晶構造解析ならびに単粒子解析に加えて、電子線トモグラフィーによる細胞・器官レベルにおける立体構造の解析を推進します。また、生物試料の電子線トモグラフィーを展開するために必要な基礎的技法となる超薄切片の作製技術の改良、クライオ技術の開発、ならびに細胞内における分子標識法の開発なども同時に行います。

2) 平成19年度分科会活動内容

① JEM 特集号

JEM, Vol. 56, No. 3 および No. 4 を生体構造解析分科会特集号として、分科会活動に沿った研究内容に関する原著論文を、分科会幹事等を中心として発表します。

② 研究討論会

分科会幹事および関係者、ならびに関連研究分野の情報交換、研究・技術開発の活性化のために、年1回の研究討論会を開催しています。平成19年度（第7回）研究討論会を以下の内容で開催します。

期 日：平成19年12月19日（水）、20日（木）

会 場：独立行政法人産業技術総合研究所 臨海副都心センター 本館4階第1会議室

〒135-0064 東京都江東区青海2-41-6

<http://unit.aist.go.jp/birc/accessmap/index.html>

講演者：高木智子（日本女子大学電子顕微鏡施設）、馬場則男（工学院大学情報学部）、藤本豊士（名古屋大学大学院医学系研究科）、瀬藤光利（生理学研究所、三菱化学生命科学研究所）、釜澤尚美（生理学研究所）、吉川雅英（京都大学大学院理学研究科）*講演順

座 長：諸根信弘（国立精神・神経センター神経研究所）

3) 分科会問い合わせ先・連絡先

問合先：宮澤淳夫

独立行政法人理化学研究所・放射光科学総合研究センター

E-mail: atsuo@spring8.or.jp

生体構造解析分科会

<http://www.riken.jp/lab-www/multisome/jsm/jsm-index.htm>

7. デバイス解析分科会

世話人：加藤直子

1) 活動方針

デバイスの特性向上や品質管理において、「デバイス材料のこういう項目について情報を得る方法（しかも迅速に）はないだろうか」との具体的なニーズはきわめて多い。それに対して、電子顕微鏡メーカー側および大学等のユーザー側は、そのようなニーズを知ることによって、研究・開発のシーズとすることができ、その成果を環流することができる。いくつかの技術については逆に企業のユーザー側が提供できることも少なくないであろう。本研究分科会では、デバイスの材料研究をテーマに試料作製や分析装置、分析手法などについて企業ユーザー、大学等のユーザー、電顕メーカーが最先端の研究や技術情報を交換して、互いのニーズとシーズを出し合いながら電子顕微鏡技術を発展させていくことを目的とする。

2) 平成19年度分科会活動内容

2007年夏の電子顕微鏡解析技術フォーラム

日本顕微鏡学会 デバイス本顕微鏡学会・デバイス解析分科会では、先端材料や電子デバイスの評価に関する身近な問題点をざっくばらんに話し合う場として〈電子顕微鏡解析技術フォーラム〉の開催を企画しています。今回のフォーラムでは、テーマ「電子回折で分かること～操作法から解釈まで～」と題して、とことん電子回折法について討論いたします。また、このフォーラムでの特長である”ざっくばらんトーク”では、参加者の皆様が抱えている問題点を発表していただき、今後のご研究に役立つ議論をいたします。その他、トピックスとして最新の技術・試料作製方法の紹介、また、皆様の日頃のご研究成果などを発表していただく解析事例の紹介や課題の提案も募集しております。電子顕微鏡に携わる皆様、ふるってご参加ください。

日 時：2007年8月31日（金）～9月1日（土）

場 所：ウェルハートピア熱海

問い合わせ先：事務局：(株)日鐵テクノリサーチ

水尾 有里

E-mail: mizuo@nstr.co.jp

TEL: 0439-80-2691 FAX: 0439-80-2767

3) 分科会問い合わせ先・連絡先

世話人（責任者）：

〒242-8502 神奈川県大和市下鶴間1623番14号

日本アイ・ビー・エム株式会社大和研究所 加藤直子

TEL: 046-215-2080 FAX: 046-273-7381

E-mail: naokoik@jp.ibm.com

◇平成19年度研究部会活動方針・活動内容

1. 生命活動を観察する走査型プローブ顕微鏡法研究部会

世話人：繁野雅次

走査型プローブ顕微鏡法（SPM）は近年ますます発展

し、材料系の研究分野では、その分解能も原子分解能を超えて個々の原子の種類を区別するに至ろうとしており、顕微鏡手法として成熟し確立しつつある。これを受け、顕微鏡学会においても走査型プローブ顕微鏡分科会が設立され活動中である。

一方、医学・生物学分野におけるSPMの活用度を見ると、もちろんこれまでの研究の積み重ねで色んな生体試料の観測法が確立されてはいるものの、分解能においても、対象の識別法においても、或いはSPMで何を観測するのが有効なのかという視点においても、第一段階からの脱却が十分には出来ていないように見受けられる。

試料が柔らかい、凹凸が激しい、天然状態での観測には溶液中での操作が必要である、試料の状態が(本質的に)均質でない、などのSPMにとって厳しい条件が生体試料への適用の発展を困難にしているが、近いうちに必ずこの分野におけるブレークスルーが出来るものと我々は信じている。

そこで、SPMを用いた生命活動の観測に特化した研究部会を設立し、顕微鏡の枠を超えて幅広い分野から研究者を結集することでこの分野のブレークスルーを計ると共に、学会の会員拡大や成果の還元による学会の活性化を目的とする。

問い合わせ先：

セイコーインスツル、エスアイアイ・ナノテクノロジー(兼務)

〒270-2222 千葉県松戸市高塚新田 563

TEL: 047-391-2142

E-mail: masatsugu.shigeno@siint.co.jp

2. 微生物機能の多様性解析研究部会 世話人：山田作夫

1) 研究部会活動方針

本研究部会では、プリオンも含めてウイルスから細菌、真菌、原虫に至るあらゆる微生物を対象として、微生物の微細構造のみならず、現在次第に明らかにされつつある微生物の多様な機能について、従来の電子顕微鏡技術は勿論のこと、免疫電子顕微鏡法を始めとした応用顕微鏡法や近年新たに展開されている顕微鏡技術を含めた、多様な顕微科学的技法を遂行して追求する。とくに今年度は、位相差電子顕微鏡および超高圧電子顕微鏡など新規顕微鏡を利用して、細菌や真菌の構造および機能について検索するとともに、近年開発された新規抗微生物薬の作用メカニズムについて、従来の顕微鏡技術や応用顕微鏡法等の顕微科学的解析を展開し、得られた成果について討議・展望する。

2) 平成19年度研究部会活動内容

下記のように開催される第48回日本組織細胞化学会総会・第39回日本臨床分子形態学会総会合同学術集会上にジョイントして参画する予定である。

日時：平成19年9月28日(金)、29日(土)

場所：甲府市総合市民会館

山梨県甲府市青沼3-5-44

TEL: 055-231-1951

演者・演題名：

- ・西山彌生(帝京大学)「新規抗真菌薬ポリコナゾールが *A. fumigatus* に及ぼす作用の微細形態学的検討」
- ・馬場美鈴(日本女子大学)「酵母のオートファジーに関与するATG遺伝子欠損株の解析」
- ・久島達也(帝京大学)「口腔カンジダ症感染初期における *Candida albicans* の舌侵入過程」
- ・山口正視(千葉大学真菌医学研究センター)「酵母サッカロミセス細胞のストラクチャー解析」
- ・白田信光(藤田保健衛生大学医学部解剖学)「位相差電子顕微鏡を用いた細菌の新しい細胞観察法」
- ・兵行義(川崎医大・耳鼻咽喉科学)「臨床由来マクロライド耐性ブドウ球菌の超微形態」

3) 研究部会問い合わせ先・連絡先

〒701-0192 倉敷市松島 577

川崎医科大学微生物学教室 山田作夫

TEL: 086-462-1111 FAX: 086-462-1199

E-mail: syamada@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 「SEM像の物理学」研究部会 世話人：桑野範之

1) 活動方針

「SEM像の物理学」研究部会では、SEM像コントラストの発現機構を明らかにすることにより、これまでは単に表面形状の観察(トポ像)と平均的な組成分布の観察(コンポ像)に留まっていたものを、さらに詳細な情報を得るための基盤を構築することを目的としている。昨年度は、電子プローブエネルギーによるコントラストの変化、重元素からなる基板上に存在する軽元素物体のコントラストの変化などについて多くの事例を収集した。その結果を基にして、(1)電子線エネルギーは500V~15kV程度の範囲で目的に即して選択する必要がある。(2)像コントラストは、電子プローブエネルギーのみならず、試料面角度、計測器の位置、ワーク距離、計測する電子のエネルギー選択が極めて重要なファクターであることを明らかにした。

これらの成果を踏まえて本年度は、同組成で状態を異にする試料(アモルファスSi中の結晶化Si)をモデル試料として、種々の条件で観察を行い、像コントラストの発現機構解明に資する。また、試料に入射された電子の挙動を個別の粒子ではなく波動として解釈し、試料から放出される電子の検出によってどれだけ結晶学的な情報が得られるかの議論を開始する。この成果は、SEM像からどの程度まで結晶内微細構造解析が行えるかの指針となる。

平成19年7月5~6日に、エスアイアイ・ナノテクノロジー(株)の協力の下、上記のモデル試料でのSEM像コントラストの観察実験を行った。

上述のように本研究部会はSEM像コントラストの発現機構の解明を目指した活動を行うので、本研究部会主要メンバーによる実験と検討会を行う。そのため、一般聴衆者を対象として講演会開催を主活動とはしない。得られた成果は、年度末に開催する小規模な成果発表会で予備的に公表するとともに、日本顕微鏡学会学術講演会においてシンポジウムを

企画して発表・討論を行う予定である。

幹 事：板倉 賢 (九州大学), 佐藤 馨 (JFE スチール),
西川 明 (アイテス), 鈴木清一 (TSL ソリューションズ), 石塚和夫 (HREM), 花田 剛 (――)

2) 研究部会問い合わせ先

九州大学 産学連携センター プロジェクト部門
〒816-8580 春日市春日公園6-1
TEL: 092-583-8773 FAX: 092-573-8729
E-mail: kuwano@astec.kyushu-u.ac.jp

4. 3次元電子線トモグラフィ法のマテリアルへの展開

世話人：馬場則男

1) 活動方針

我々の周囲に存在する材料・物質は特殊なケースを除き、必ず異方性を持ち、且つ厚みや奥行きを持つため、3次元による解析が必要である。特に「ナノ」をキーワードとした3次元解析には透過型電子顕微鏡レベルの空間分解能でのトモグラフィ法を必要とする。透過型電子顕微鏡とトモグラフィ法の組み合わせは1968年のDeRosierとKlugによるT4ファージ鞭毛の螺旋構造の発表に始まるが、当時は全てがアナログであり、写真撮影や様々な手作業を必要としていたため長時間を要し、また低倍率の観察に限られたため分解能も低かった。しかし、昨今では透過型電子顕微鏡ならびにその周辺機器のデジタル化や自動化が進み、様々な画像情報をコンピューターに取り込むことが日常的になってきている。このような状況下、トモグラフィ法に必要不可欠とされる、試料高さ、試料焦点、回転軸、その他の情報を2次元(CCD)画像に反映し、3次元像を再構築することが身近になりつつあるが、高倍率、高分解能や定量評価を必要とする無機、有機、金属材料の場合は更なる電子顕微鏡技術、画像処理技術等の改良が必須である。

空間分解能の向上とともに、True原子レベルの3次元解析の可能性の評価や解析時間の短縮(現在は数十~百枚程度の2次元画像の取得とそのコンピューター処理)や解析手法の改良(信頼度の向上)等を目的とする。また、「材料研究に使えるようにすること」と「世界に先駆ける装置・解析法」を開発することを視野に入れる。

2) 平成19年度研究部会活動内容

19年11月(または12月)に、チュートリアルプログラムを開催する方向で、現在企画中。

3) 研究部会問い合わせ先・連絡先

世話人：馬場則男
工学院大学
E-mail: ct83063@ns.kogakuin.ac.jp

◇第23回分析電子顕微鏡討論会について

第23回分析電子顕微鏡討論会を下記の要領にて開催いたします。

記

「分析電子顕微鏡の基礎から最先端技法まで」

主 催：日本顕微鏡学会分析電子顕微鏡分科会
期 日：平成19年8月28日(火)、29日(水)
会 場：幕張メッセ(分析機器工業会主催の分析展と同時に開催)

参加費(予稿集合含む)：会員及び協賛学会員6,000円、
非会員7,000円、学生 無料

内 容：今回もEDS、EELSおよびSTEMに関する基礎(チュートリアル)と3次元可視化技法の新展開(電子線トモグラフィ等)を紹介するとともに、最新分析技法の応用例に関する紹介(ホログラフィー、低加速SEM等)や試料作製法について講演が行われます。また特別講師を招いての特別講演も催されます。一般からの口頭発表も募集していますので、奮ってご参加ください。

プログラム・申込方法等：詳細については、以下のホームページをご参照下さい。

<http://www.caret.hokudai.ac.jp/bunseki/index.html>

問合せ(兼連絡先)：

〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目
北海道大学エネルギー変換マテリアル研究センター マルチスケール機能集積分野 坂口紀史
TEL: 011-706-6768 FAX: 011-706-6768
E-mail: bunseki@ufml.caret.hokudai.ac.jp

◇日本顕微鏡学会第51回シンポジウム

テーマ：顕微鏡学の今とこれから

日 時：平成19年10月19日(金)、20日(土)

場 所：徳島大学長井記念ホールほか
(徳島大学蔵本キャンパス内)

参加費：5,000円(会員、9月21日まで。これ以降6,000円)

6,000円(非会員、9月21日まで。これ以降7,000円)

懇親会費：5000円

※内容の詳細に関しては同封のプログラムを参照ください。

懇親会：徳島大学青藍会館レストラン「エルポ」(18時30分から)

日本顕微鏡学会第51回シンポジウム事務局

住 所：徳島市蔵本町3丁目18-15

徳島大学HBS研究部形態情報医学内

担当者：石村和敬

FAX: 088-633-9426

E-mail: ishimura@basic.med.tokushima-u.ac.jp

登録締め切り日：平成19年9月21日